

DRIFT PACKAGE

イマドキ **α**
アルファ

1/10 SCALE EP DRIFT CAR CHASSIS KIT

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。
本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことができます。

Thank you for purchasing this Yokomo product. This high performance competition kit has been proudly manufactured by Yokomo - World Champion R/C car manufacturer.
Proper assembly of this product will provide fun, safe enjoyment.

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様(中学生以下)が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

組立の注意

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスチックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

走行の注意

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを超える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。

走らせる手順

- ①タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
- ②スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。(送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。)
- ④受信機のスイッチをONにします。

走行終了手順

- ①スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ②バッテリーの接続を外します。
- ③送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

バッテリーの取り扱い

(バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

モーターの取り扱い

(モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。)

- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかり固定し3~5V程度でから回して下さい。
- モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

PRECAUTIONS FOR SAFE ENJOYMENT OF YOUR R/C CAR

For children under the age of 13, parental guidance is recommended when running.

ASSEMBLY PRECAUTIONS

- Do not assemble around small children. The parts can be dangerous if accidentally swallowed.
- Check the contents carefully before assembly. Please contact Customer Support if you happen to notice any defective or missing items.
- You will find the assembly process much easier by carefully reading through the manual, and familiarizing yourself with the instructions.
- Many different tools are required during assembly. For safety purposes, please use suitable tools. Exercise extra caution when using a sharp tool such as a hobby knife.
- Many different materials are used for the parts. Use extra care when handling parts with sharp edges, such as machined metal parts.
- When cutting plastic parts, watch for any flying parts.
- Try to assemble any rotating parts or drivetrain parts as smooth as possible.
- Bundle wires neatly away from the ground or any moving drivetrain components. Make sure that all wires are properly connected to prevent shorting.
- Unnecessary modifications may be unsafe and hinder performance.
- Always paint in a well ventilated area away from flames.

PRECAUTIONS BEFORE RUNNING

- Yokomo R/C cars are built for competition use, and some models may exceed speeds of 40km per hour. Practice common sense and run the car in open safe places, or R/C car tracks.
- Do not run the car on public roads with high amounts of traffic, or in areas that may cause an inconvenience to people in that area.
- R/C cars are controlled using a radio frequency. In a worst-case scenario, radio interferences may cause loss of control.
- If others near you are running R/C cars, confirm that they are not running on the same frequency.
- R/C cars do not like water. Avoid running on rainy days, or areas with water puddles. Exposure of the electronics to water may cause loss of control or damage to the electronics.
- The drivetrain of an R/C car consists of many moving parts like gears, belts, shafts, and tires. Avoid touching these areas when the battery is connected.
- Many parts of an R/C car will become hot after running. Allow the parts to sufficiently cool before conducting any maintenance.

BEGINNING A RUN

- ①Place the R/C car on a stand so the wheels are off the ground.
- ②Confirm that the speed controller switch is OFF, and connect the motor and battery.
- ③Extend the transmitter antenna and turn the switch ON. (It is unsafe to use a transmitter with low voltage. Make sure that the transmitter batteries are good before running)
- ④Turn the speed controller switch ON.

FINISHING A RUN

- ①Turn the speed controller switch OFF.
- ②Disconnect the battery.
- ③Turn the transmitter switch OFF, and retract the antenna.

BATTERY USAGE

(Carefully read the instruction included with the batteries.)

- When charging batteries, make sure that the surrounding area is void of anything highly flammable. Also avoid charging in high-temperature locations.
- When charging batteries, frequently monitor the charging it catch on fire. If the battery reaches 50 degrees Celcius or more, stop charging.
- Batteries will become hot after running. Continuous use of the battery pack may result in damage to the cells. Allow the battery too cool down before re-charging. Using a battery conditioner after running may prolong the life and performance of the battery.
- Please do not discard old battery packs in the trash. Although inconvenient, please locate a battery disposal center.

MOTOR USAGE

(Carefully read the instruction included with the motor.)

- Connecting a 7.2V battery directly to the motor can be very dangerous. This may cause the internal parts of the motor to break apart, causing some parts to fly out of the motor. To break-in the motor, safely secure the motor and run the motor at about 3-5V.
- Motors require periodic maintenance. Slower speeds and decreased run times may indicate a worn-out motor. Periodically clean the motor and change the brushes when needed.
- Choose a gear ratio that matches the power characteristics of the motor. Using a gear ratio unsuited to the characteristics of the motor will not only prevent the motor from performing at its optimum, but may even cause damage to the other electronics.
- Motors will generally become very hot after running. Continuous running will reduce the life of the motor. Allow the motor to sufficiently cool between each run.

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [IMADOKI α] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

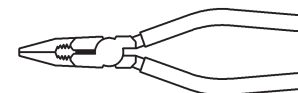
- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)
**TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL**
- 走行用パックバッテリー
PACK BATTERY
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- タイヤ&ホイール(タイヤ付キットは不要)
TIRES & WHEEL
- 走行用ボディー(ボディー付キットは不要)
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 別途用意する工具 ■

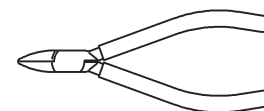
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



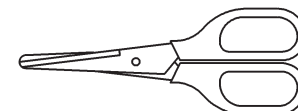
ドライバー (大,小)
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



カッター
HOBBY KNIFE

■ キットに入っている工具 ■

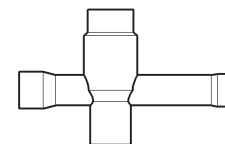
TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(1.5mm & 2.0mm)



ターンバックルレンチ
TURNBUCLE WRENCH



十字レンチ
NUT WRENCH

**【イマドキアルファ】の性能を十分に発揮させる為にイラストを
良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。**

**For assembly, follow the figures and the instructions closely
so that your [IMADOKI α] will perform at its best!!**

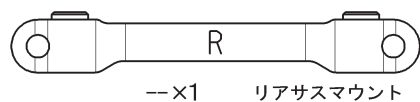
【 袋① の内容 】

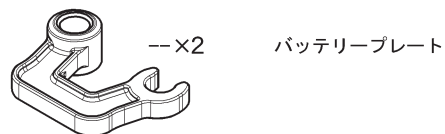
 --×4 M3×8 皿ビス

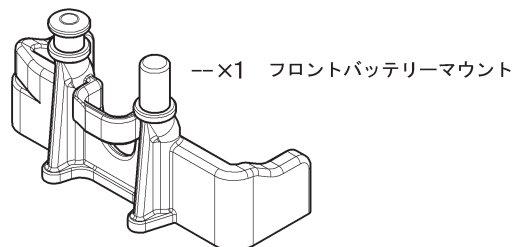
 --×4 M3×12 皿ビス

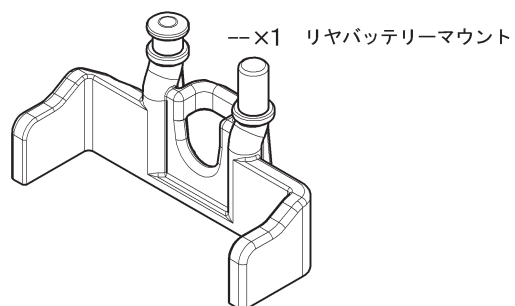
 --×4 サスマウントスペーサー

 F
--×1 フロントサスマウント

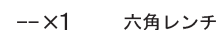
 R
--×1 リアサスマウント

 --×2 バッテリープレート

 --×1 フロントバッテリーマウント

 --×1 リアバッテリーマウント

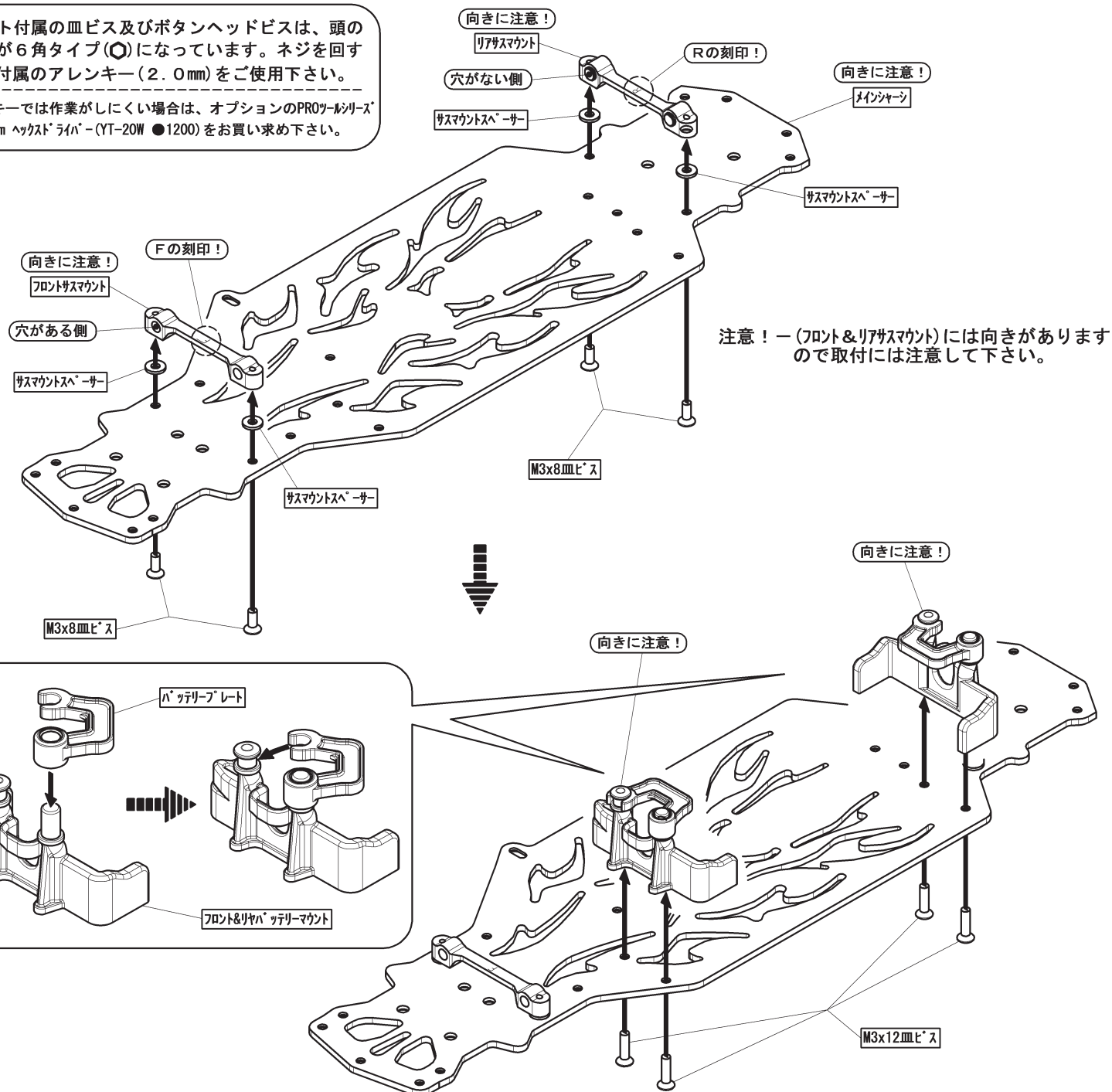
【 工具袋 】

 --×1 六角レンチ(1.5mm & 2.0mm)

その他、ターンバックルレンチ、十字レンチ

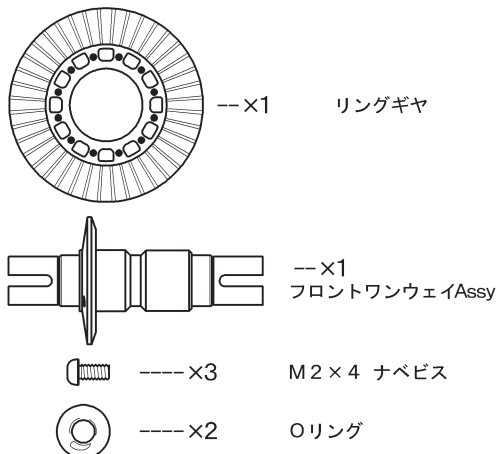
キット付属の皿ビス及びボタンヘッドビスは、頭の部分が六角タイプ(○)になっています。ネジを回す時は付属のアレンキー(2.0mm)をご使用下さい。

アレンキーでは作業がしにくい場合は、オプションのPROツールシリーズ 2.0mm ヘクストライバー(YT-20W ●1200)をお買い求め下さい。

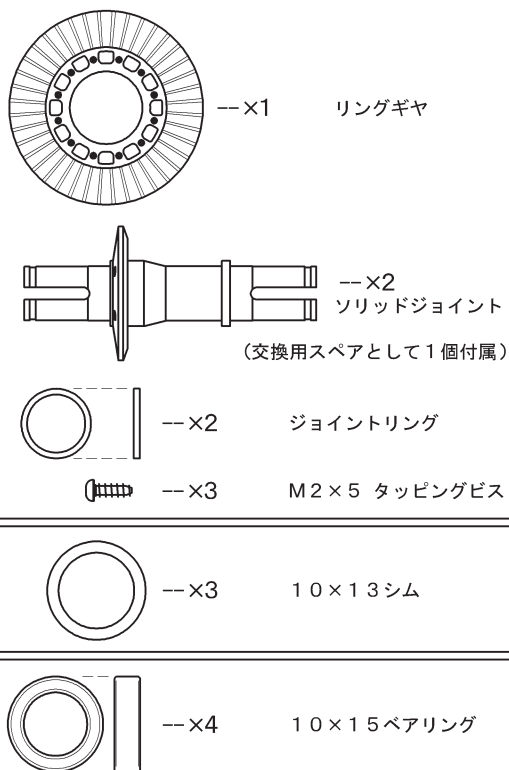


注意! (フロント&リアサスマウント)には向きがありますので取付には注意して下さい。

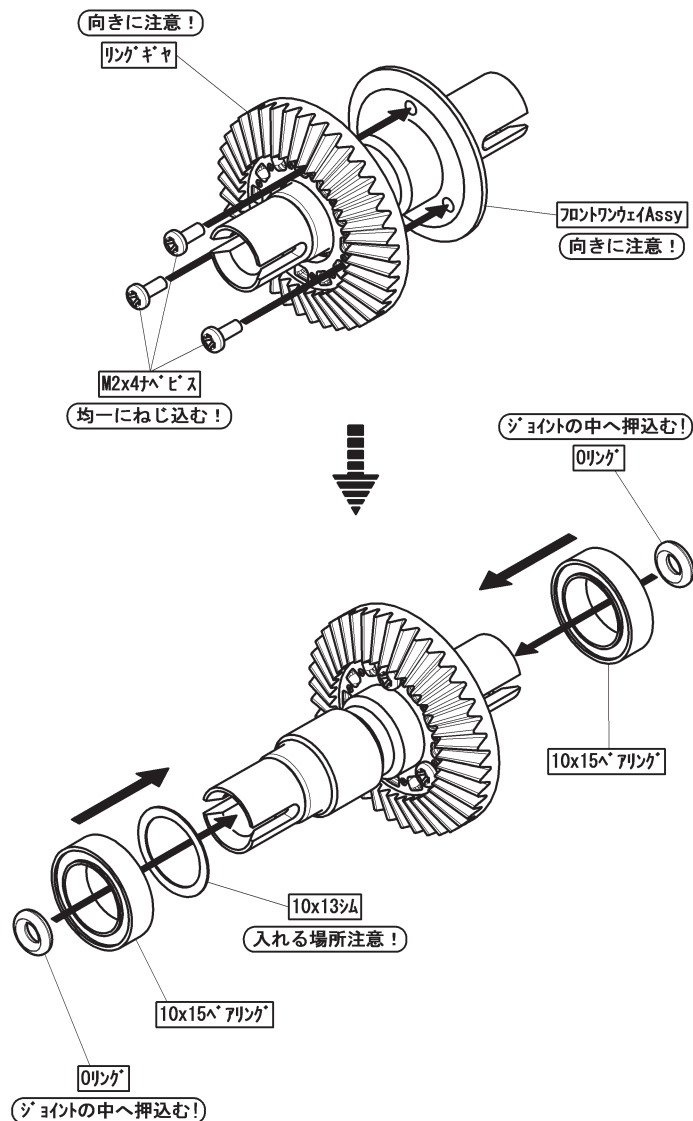
【 袋② の内容 】
[フロントワンウェイ用パーツ]



[ソリッドアクスル用パーツ]

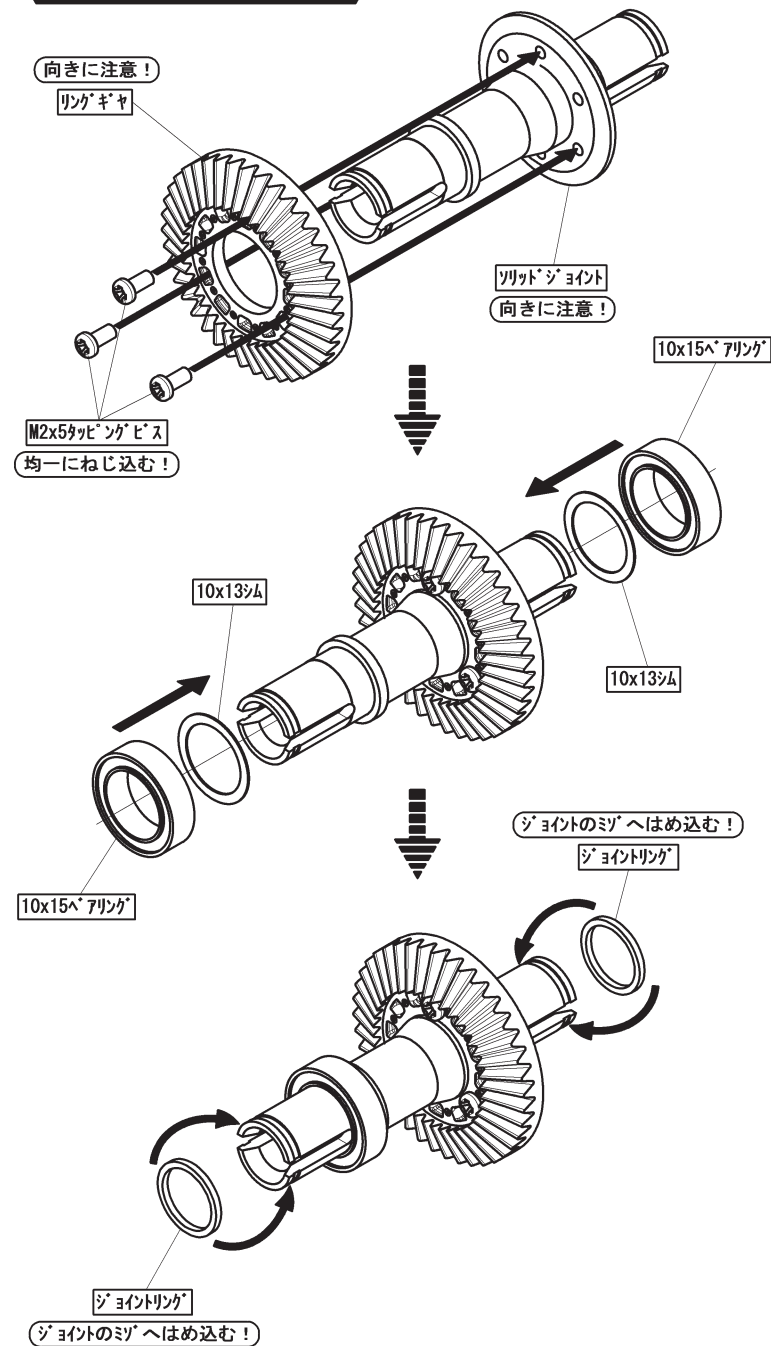


フロントワンウェイの組立



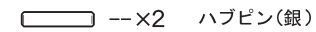
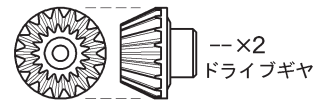
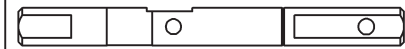
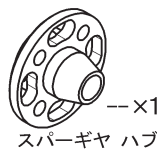
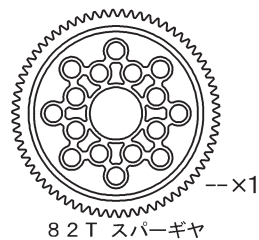
注意！－(10x13シム)はイラストの様に片側のみ入れ
反対ギヤ寄り側には入れないで下さい。

ソリッドジョイントの組立



【袋③の内容】

- x2 M2.6x6 皿ビス(ワッフル付)
- x2 M3x8 皿ビス
- x4 M3x10 皿ビス
- x4 M3x6 ボタンヘッドビス
- x8 M3x12 ボタンヘッドビス
- x1 M3x4 セットスクリュー



その他、ミッションケース類、シャーシブレース類
モーターマウントベース



--x1 5x8 シム



--x2 8x11 シム

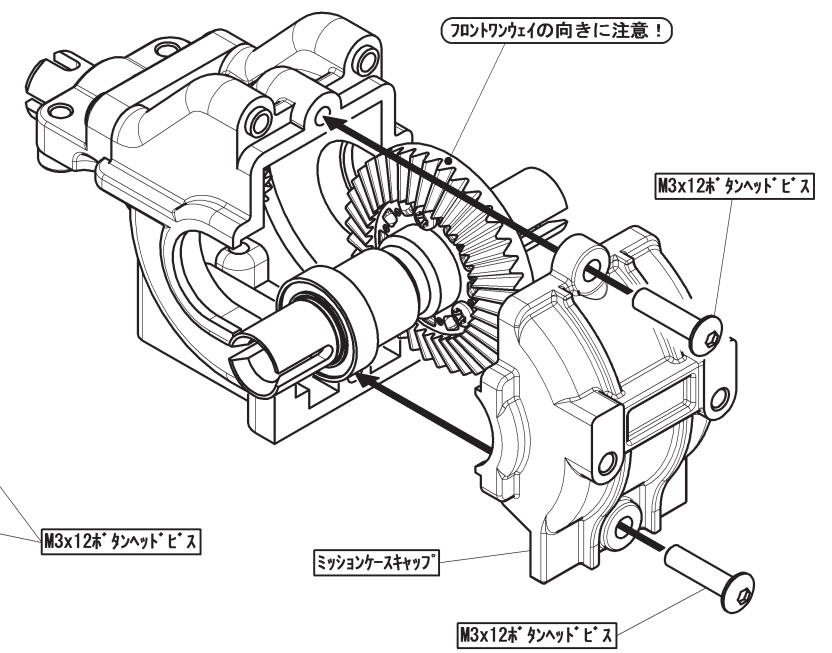
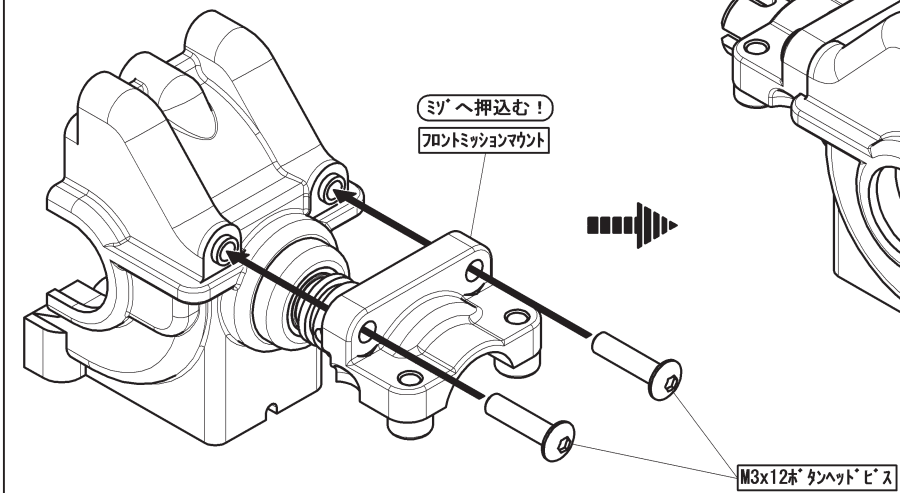
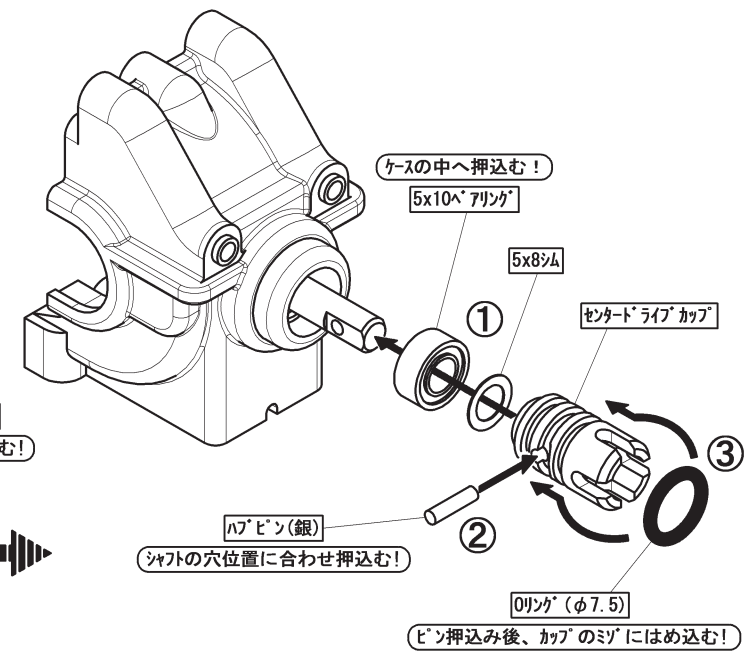
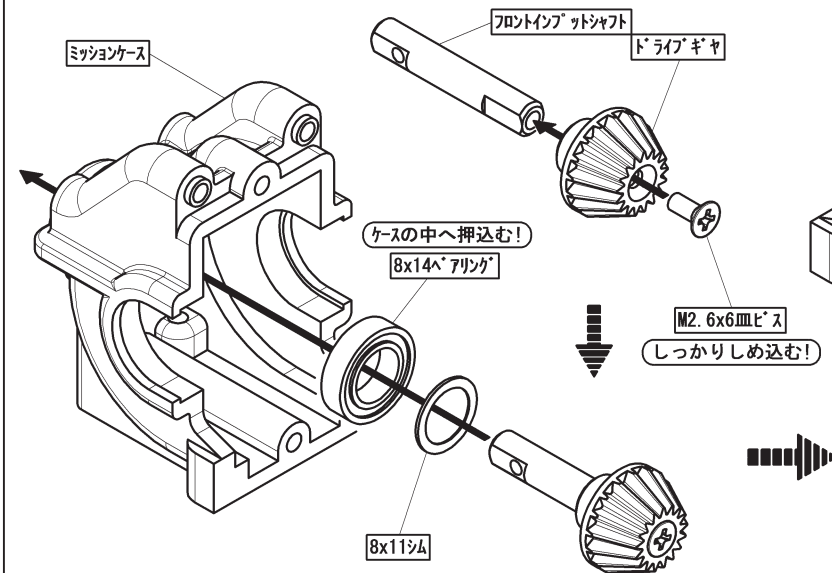


--x3 5x10 ベアリング

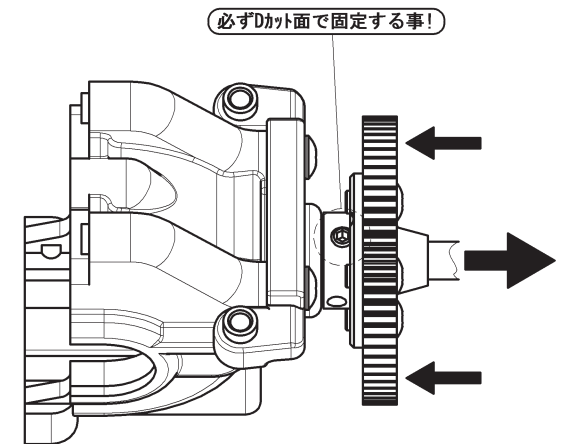
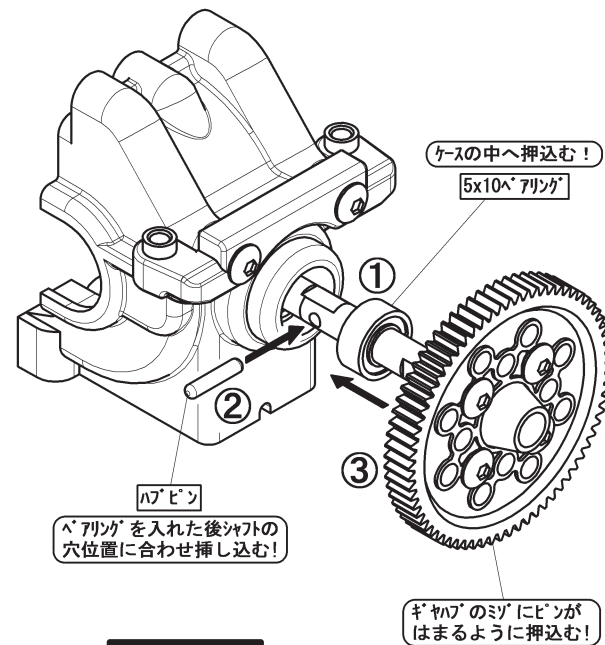
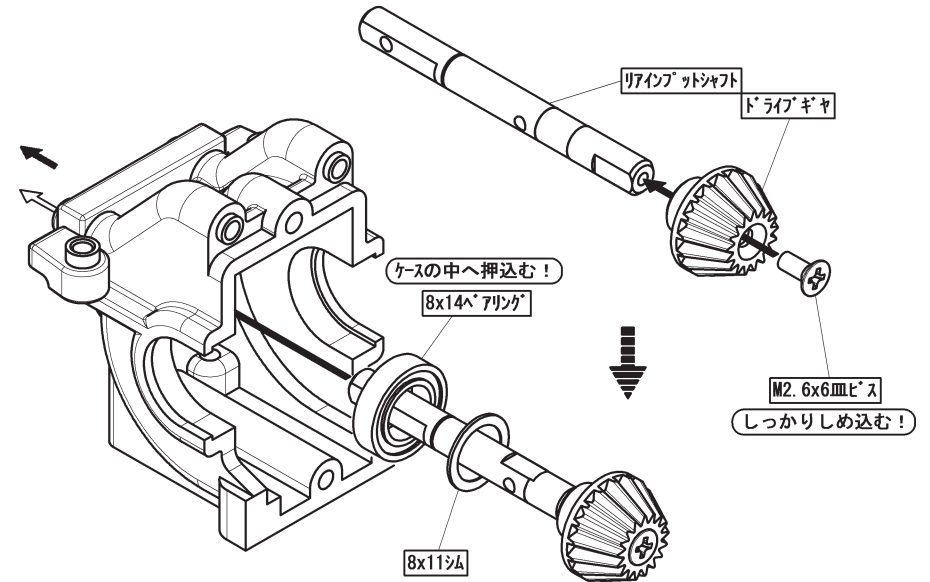
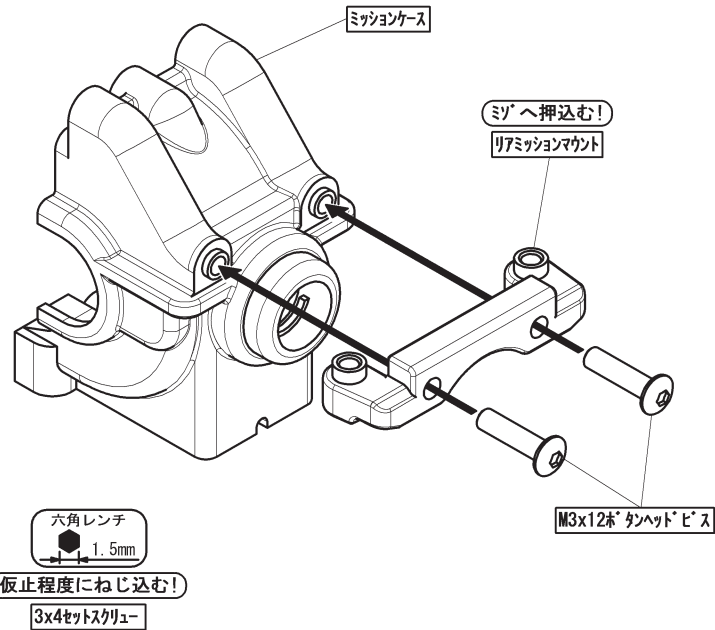


--x2 8x14 ベアリング

注意！ー (M2.6x6皿ビス) は、しっかりと締め込んで下さい。



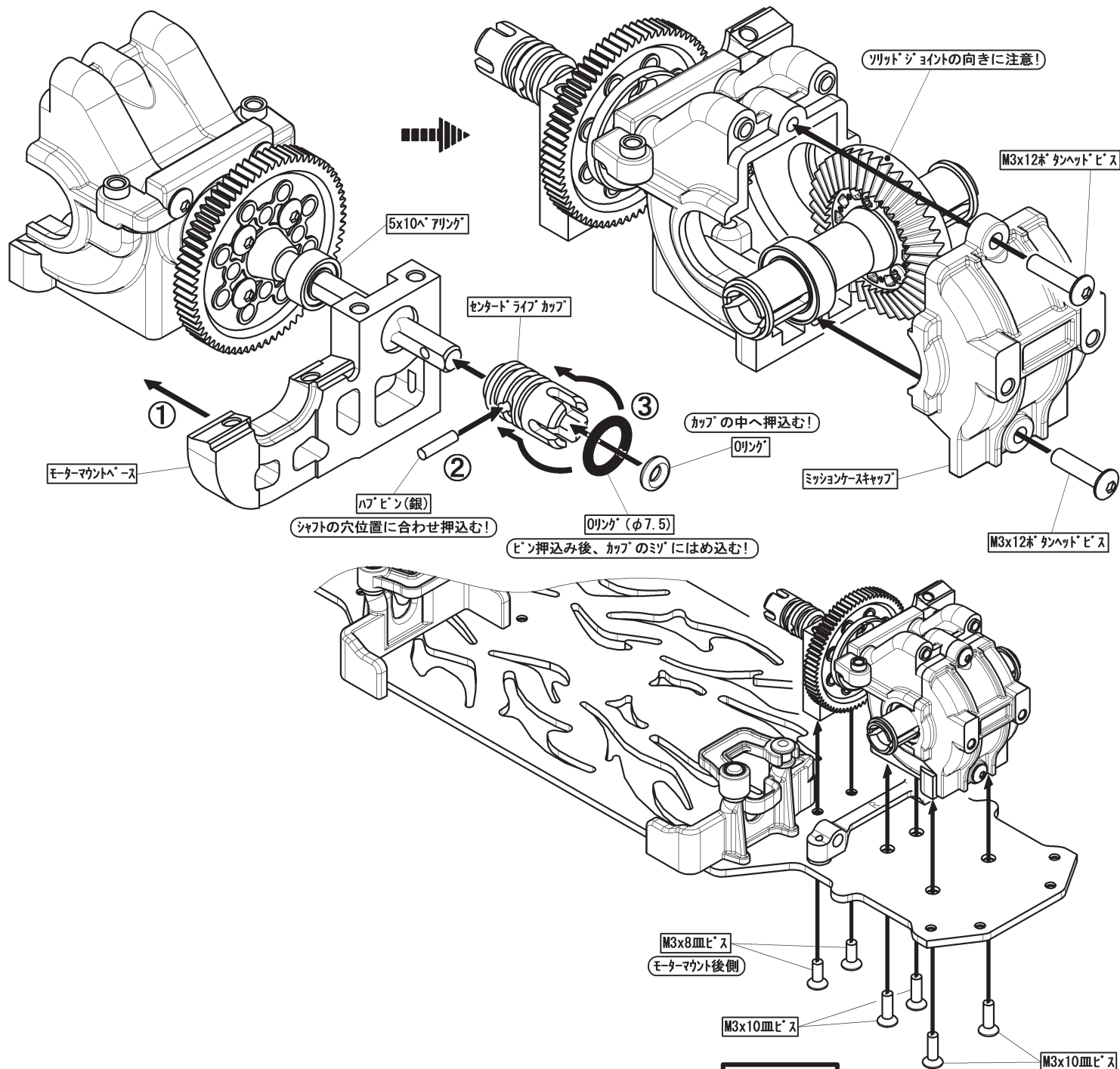
注意！① (M2. 6x6皿ビス) は、しっかりと締め込んで下さい。



シャフトのDカット面にセットスクリューが当たるのを確認後、シャフトを引いた状態でスパークギヤをケース側に押し当てながら、セットスクリューをしめ込み固定して下さい。

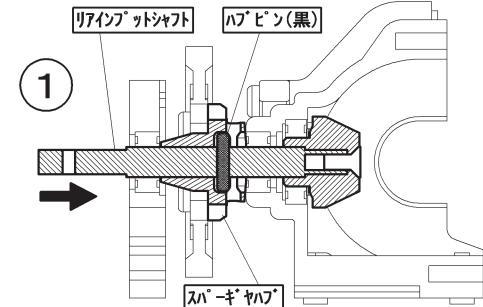
注意！③ (スパークギヤ) を固定する (セットスクリュー) は強くしめすぎない様に注意して下さい。
(ゆるみ止めにシロツク剤などを使用して下さい。)

注意！② (82Tスパークギヤ) に (スパークギヤハブ) を取付ける際、互いのネジ穴同士が合っている事を確認し、(M3x6[※] タンヘッド[※] ビス) 4本を均等に少しづつ、しめ付けて下さい。

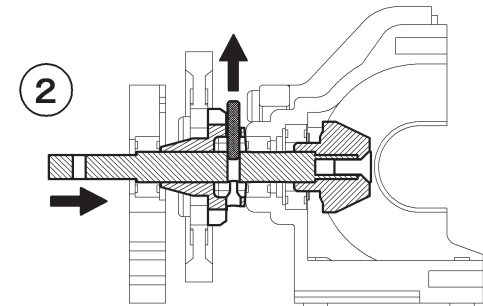


1ポイントアドバイス!

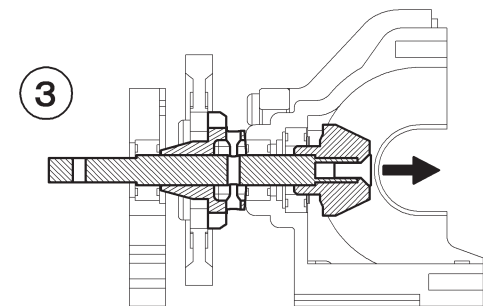
スパーギヤハブの取外し方



スパーギヤハブのセットスクリューをゆるめ
リアインプットシャフトを後方へずらす。
(あらかじめセンタードライブカップ
を外しておいて下さい。)



スパーギヤハブの穴からハブピンが見える
位置までリアインプットシャフトをずらし
ハブピンを抜く。
(ハブピンが抜けやすい場合は、薄くゴム
系接着剤などを塗って下さい。)



リアインプットシャフトを引き抜きスパー
ギヤハブを上から抜く。
(再組立時は逆の手順で行います。)

【袋④の内容】

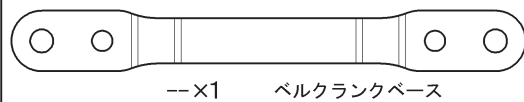
- ×4 M3×8 皿ビス
- ×2 M3×6 ボタンヘッドビス
- ×2 リンクピン
- ×3 ロッドエンドボール
- ×1 ロッドエンドボール(長)
- ×2 16mm ターンバックル
- ×1 25mm ターンバックル

- ×6 ボールエンドキャップ(S)

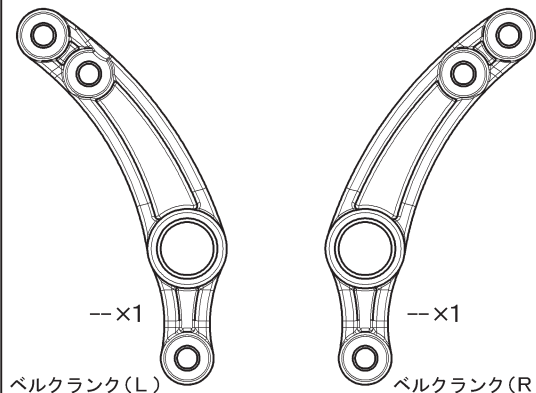
※ボールエンドキャップは長さ違いで(S)(M)(L)の3種類あり

- ×1 アルミカラー

- ×2 ベルクランクポスト



---×1 ベルクランクベース



---×1

ベルクランク(L)

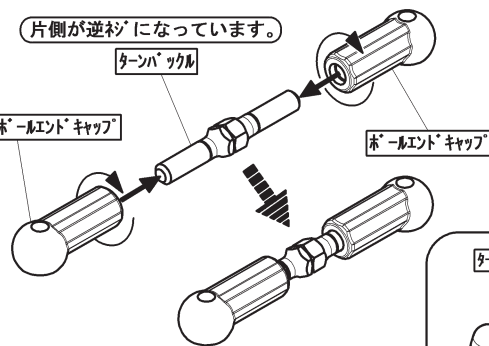
---×1

ベルクランク(R)

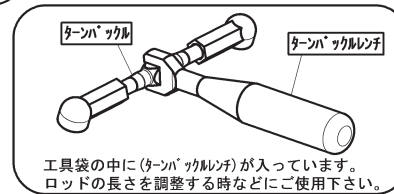


---×1 センターリンク

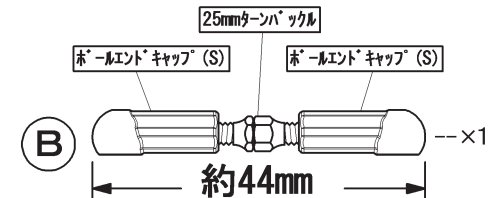
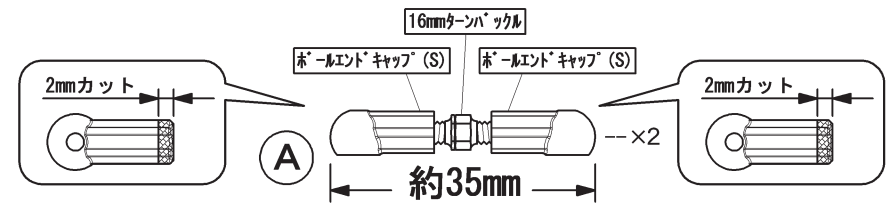
- ×4 4×8 ベアリング



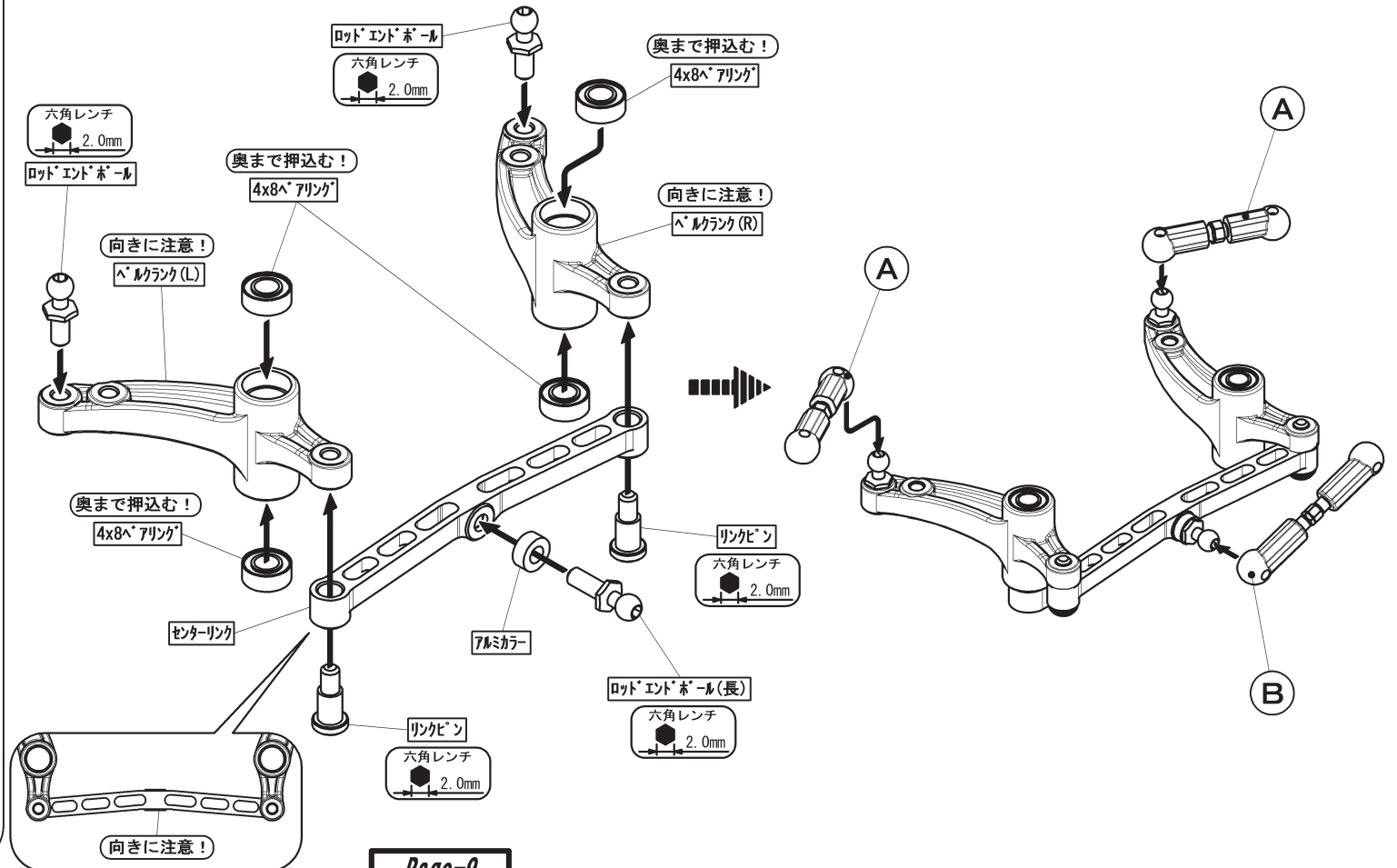
各ターンバックルの両側からボールエンドキャップをねじ込みロッドを組立てます。

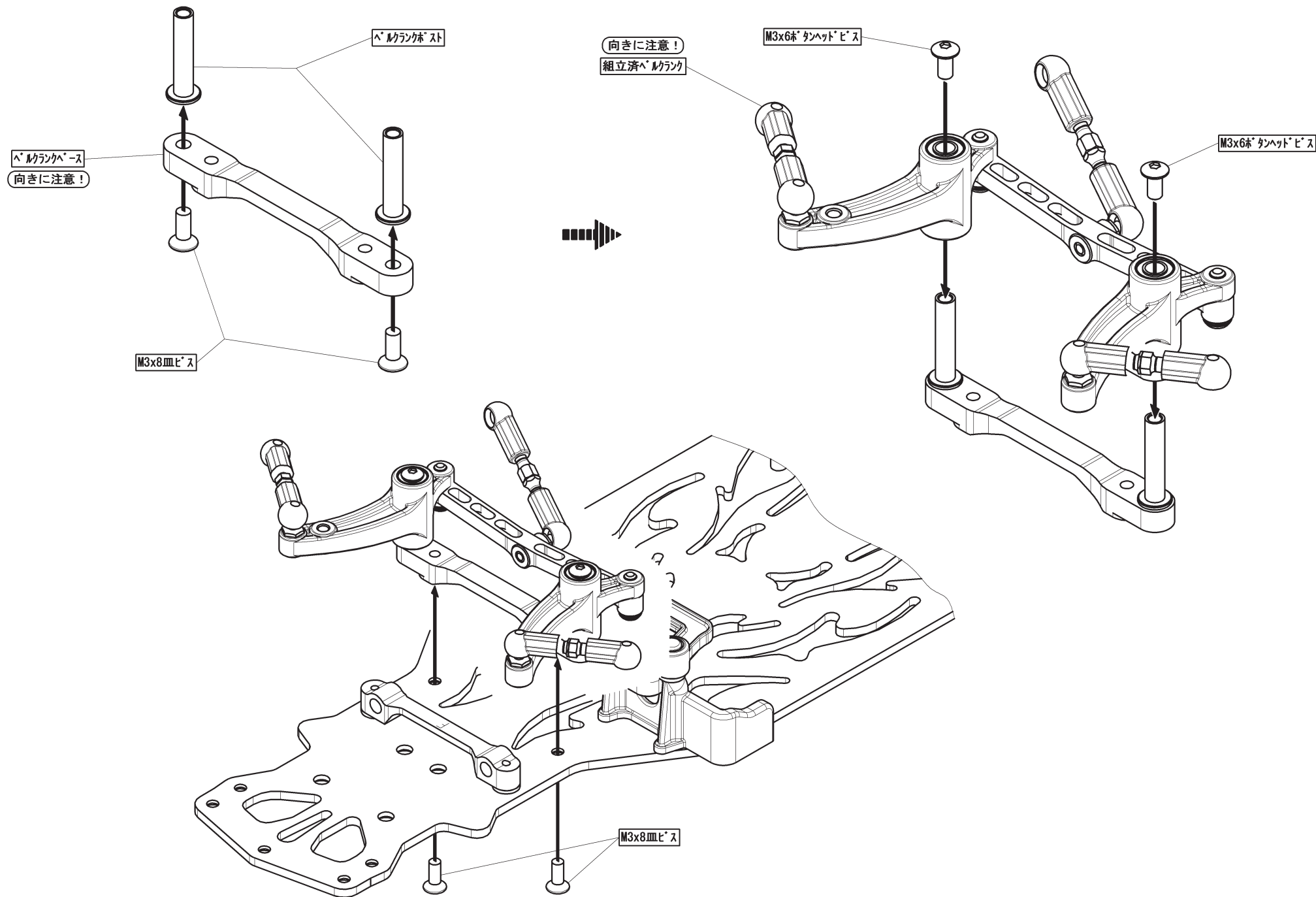


工具袋の中に(ターンバックルナット)が入っています。ロッドの長さを調整する時などにご使用下さい。



※使用するサーボにより長さ調整が必要です。





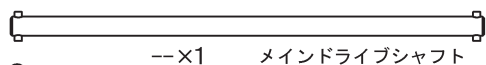
【 袋⑤ の内容 】

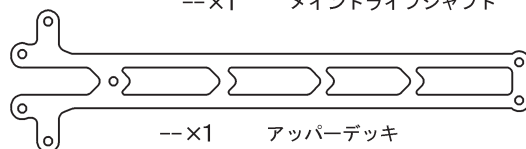
 --×1 M3×8 皿ビス

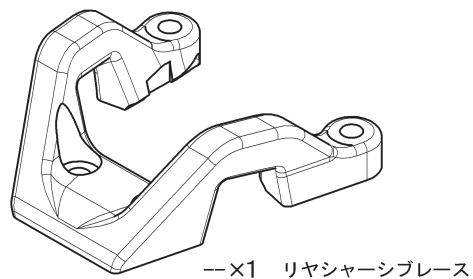
 --×4 M3×10 皿ビス

 --×6 M3×10 ボタンヘッドビス

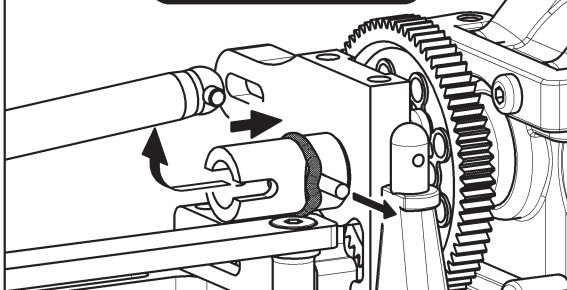
 --×1 アンテナマウント

 --×1 メインドライブシャフト

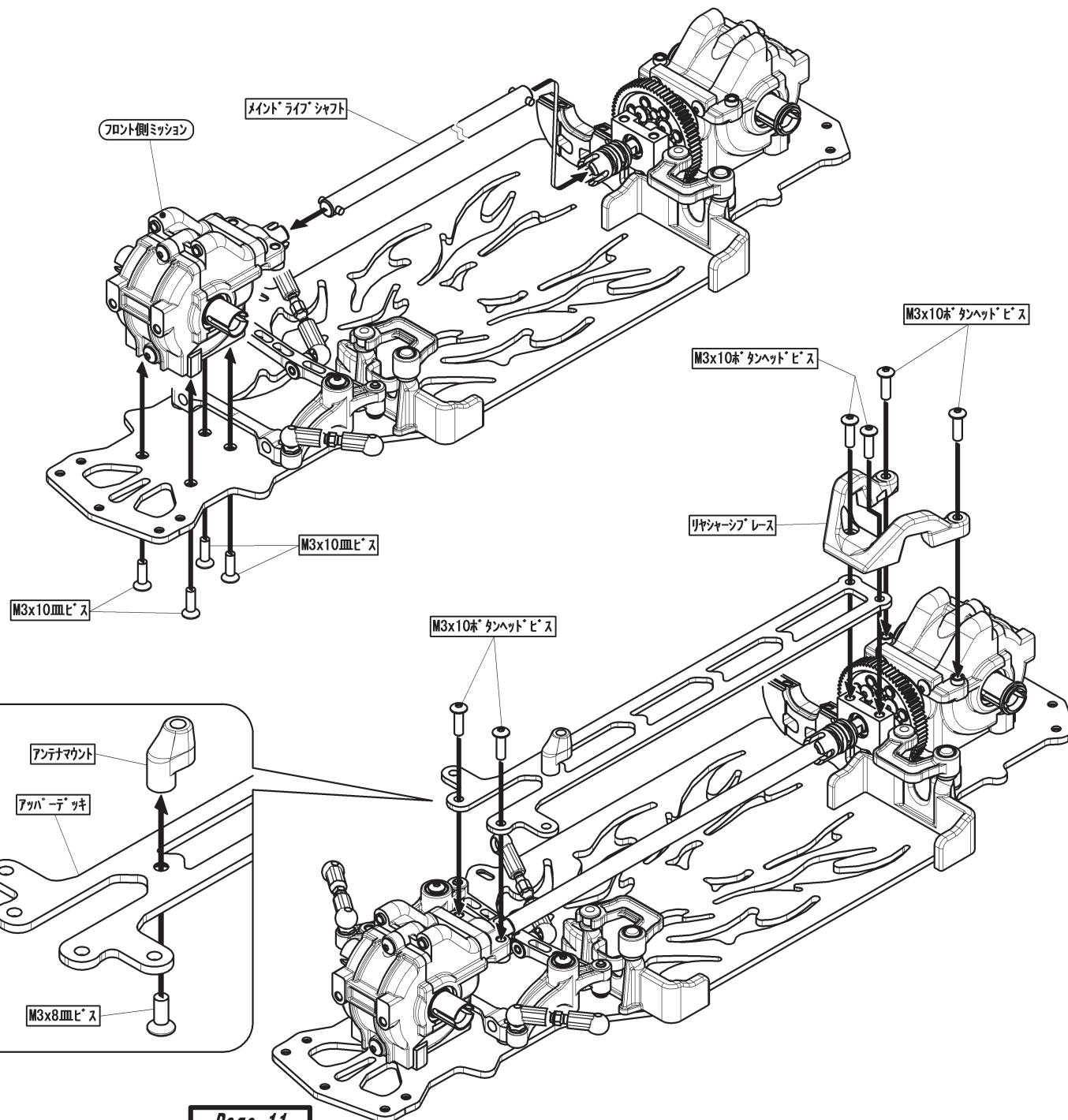
 --×1 アッパーデッキ

 --×1 リヤシャーシブレース

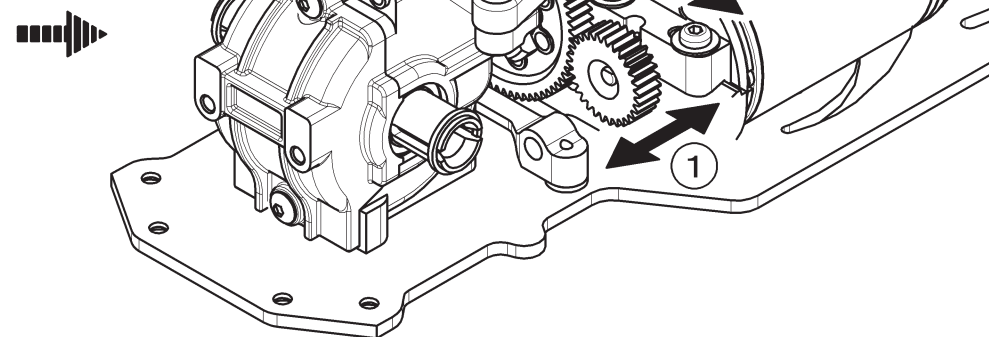
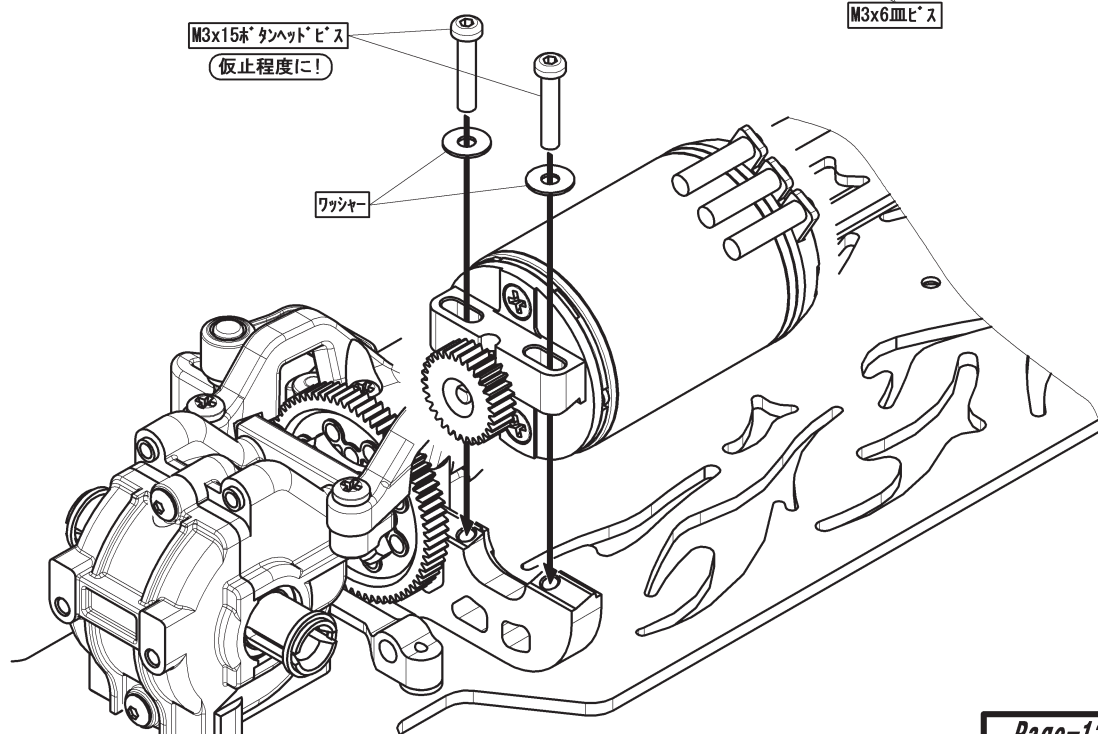
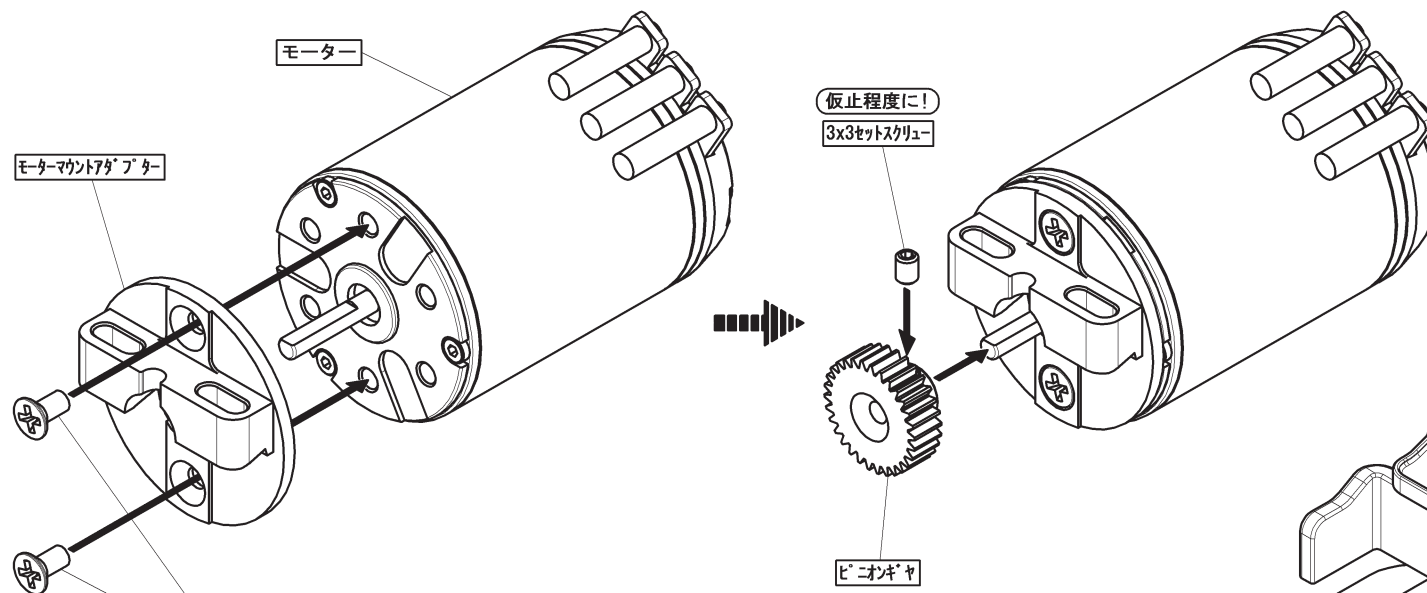
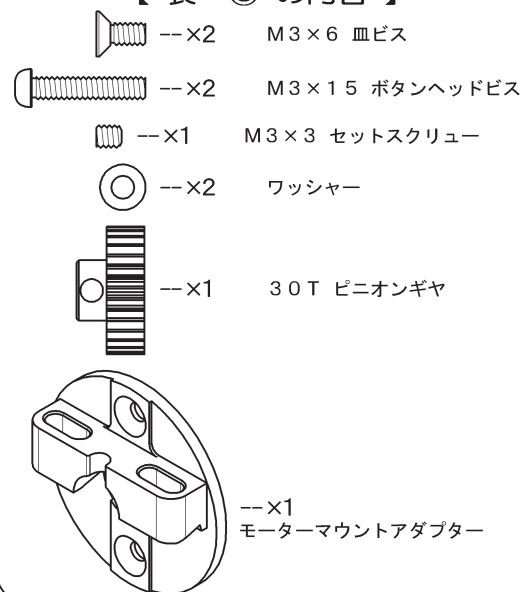
1 ポイントアドバイス！



組立後、メインドライブシャフトを抜取る場合は、インプットシャフトからハブピン（銅）が抜けるまで外から押し出し、センサードライブカップをズラすことで簡単に取る事ができます。

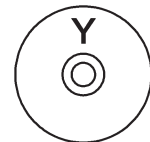
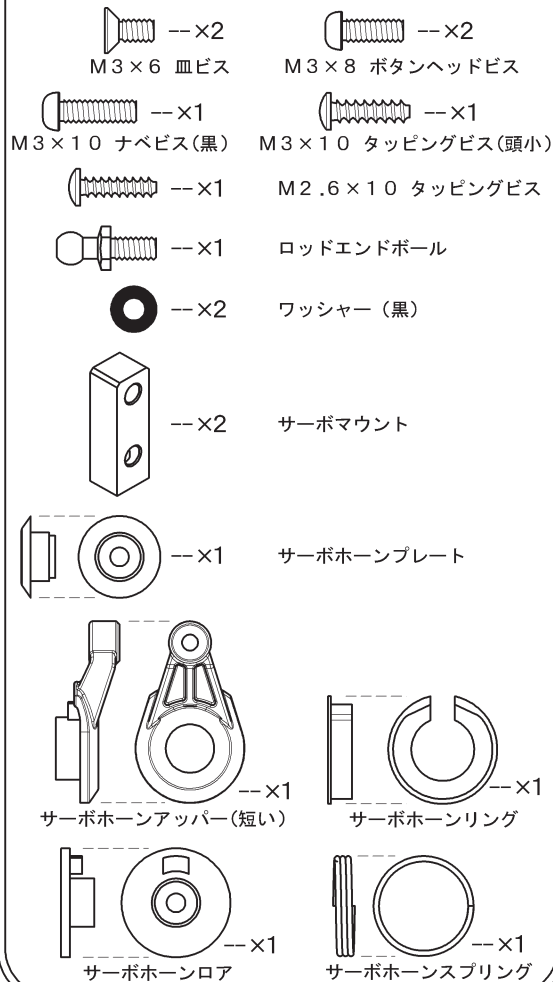


【 袋⑥ の内容 】



スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの位置を調整し、セットスクリューを本締めします。バックラッシュを合わせボタンヘッドビス2本を本締めします。

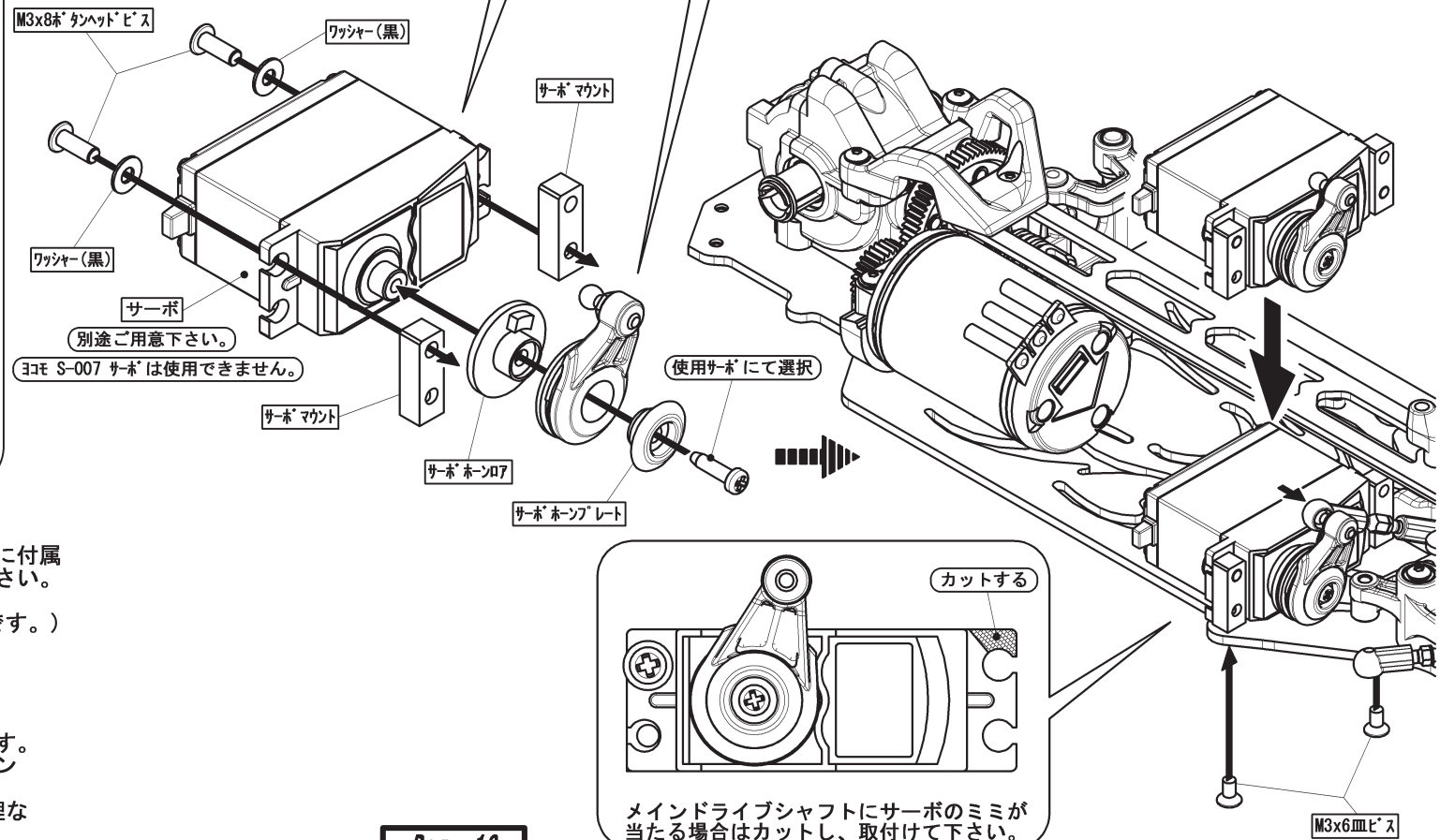
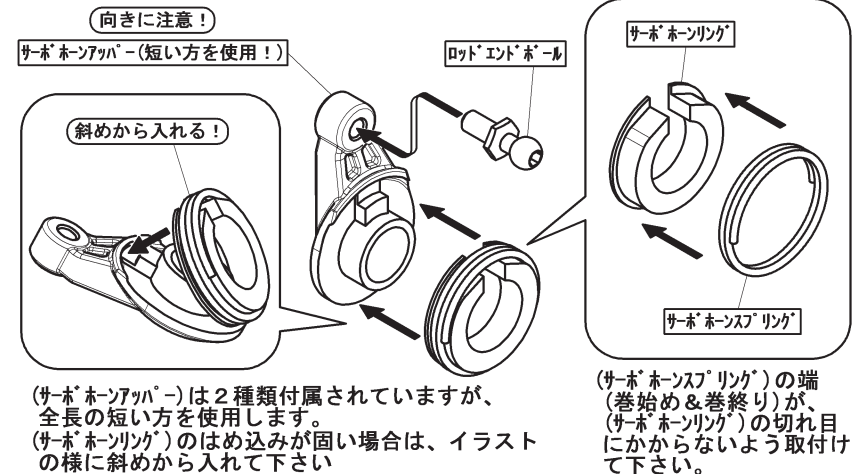
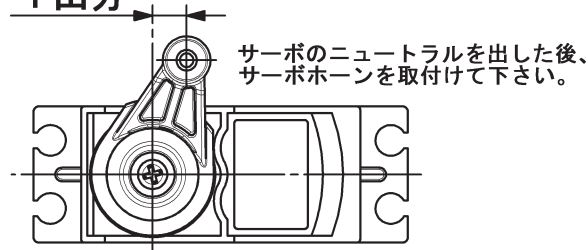
【袋⑦の内容】



刻印	メーカー
Y	ヨコモ S005
Y F	ヨコモ S003, フタバ
J K S	ヨコモ S008, JR, KO, サンワ

付属の(サーボホーン)には刻印が入っています。ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。

1山分

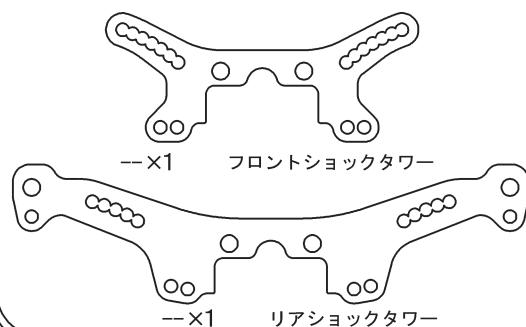


注意！

- ①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。
(本キット付属のビスは、トラスM2.6×10タッピングビス、M3×10タッピングビス(頭小)、M3×10ナベビスの3種類です。)
- ②(サーボホーン)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポセットの説明書をご覧ください。)
- ③キット付属の(サーボホーン)は3種類用意されています。必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

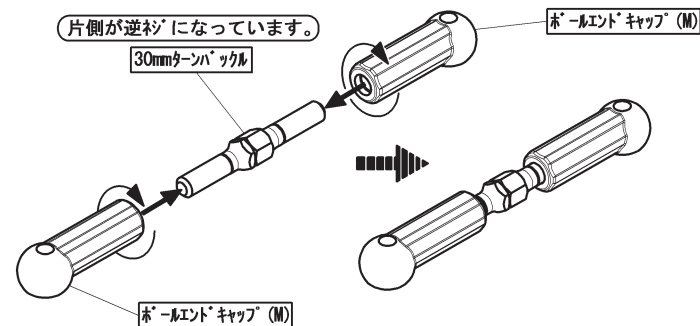
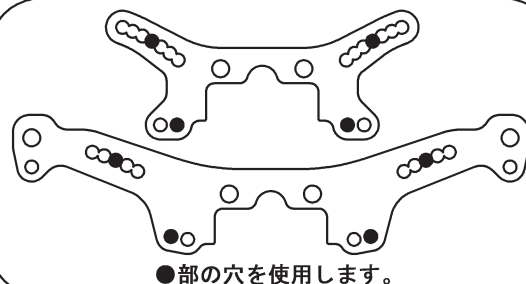
【 袋-⑧ の内容 】

-  --×8 M3×10 ボタンヘッドビス
-  --×4 M3 平ナット
-  --×4 ロッドエンドボール
-  --×4 ショックキャップボール
-  --×4 30mm ターンバックル

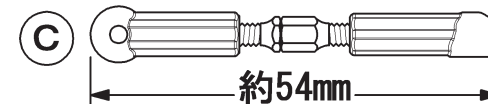


【 袋-④ の残り 】

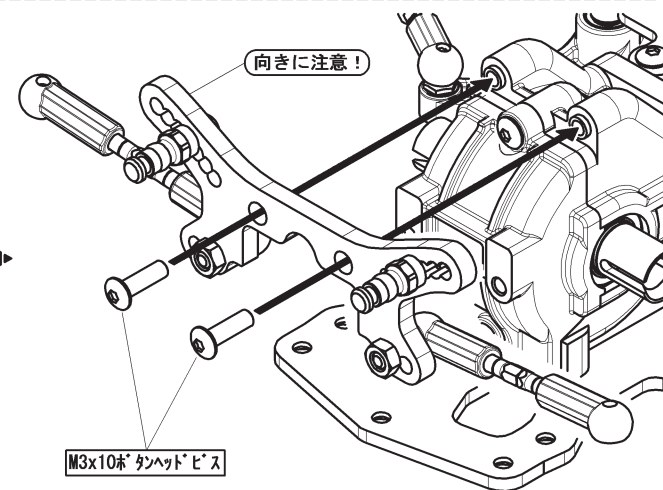
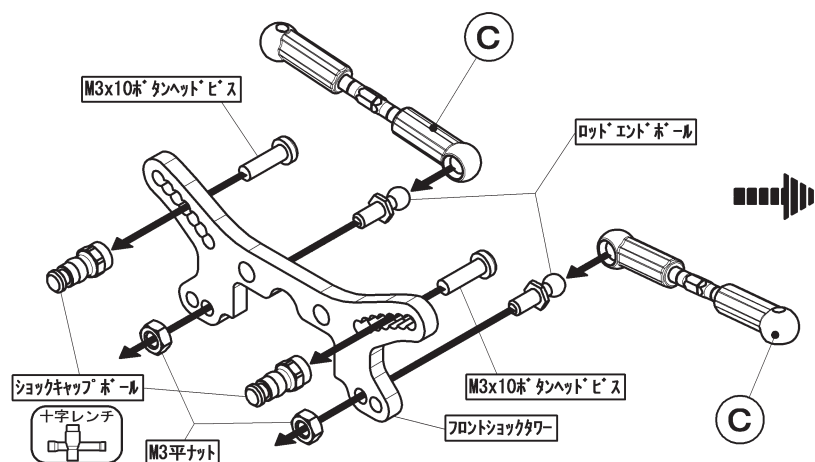
-  --×8 ボールエンドキャップ(M)



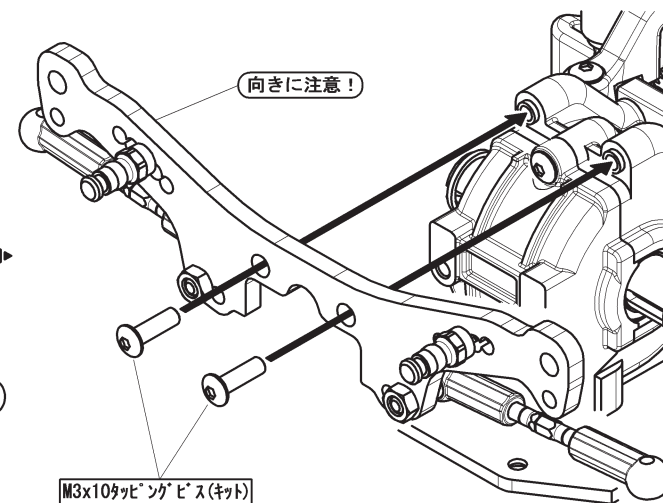
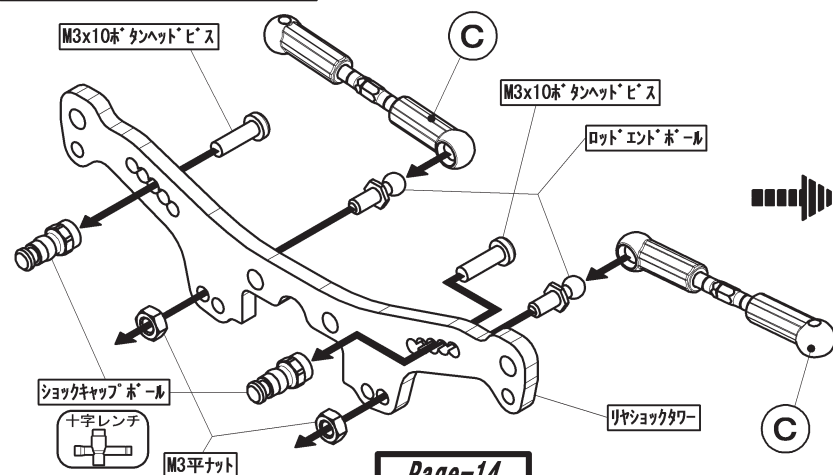
4セット作ります。



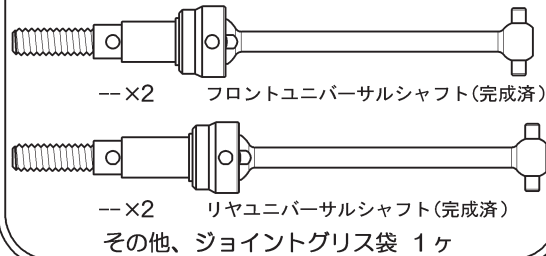
フロントショックタワーの取付



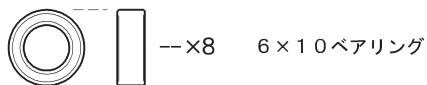
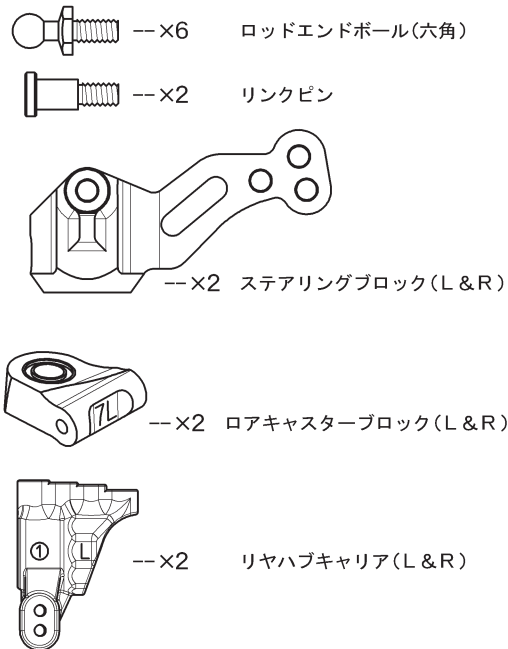
リアショックタワーの取付



【袋⑨の内容】



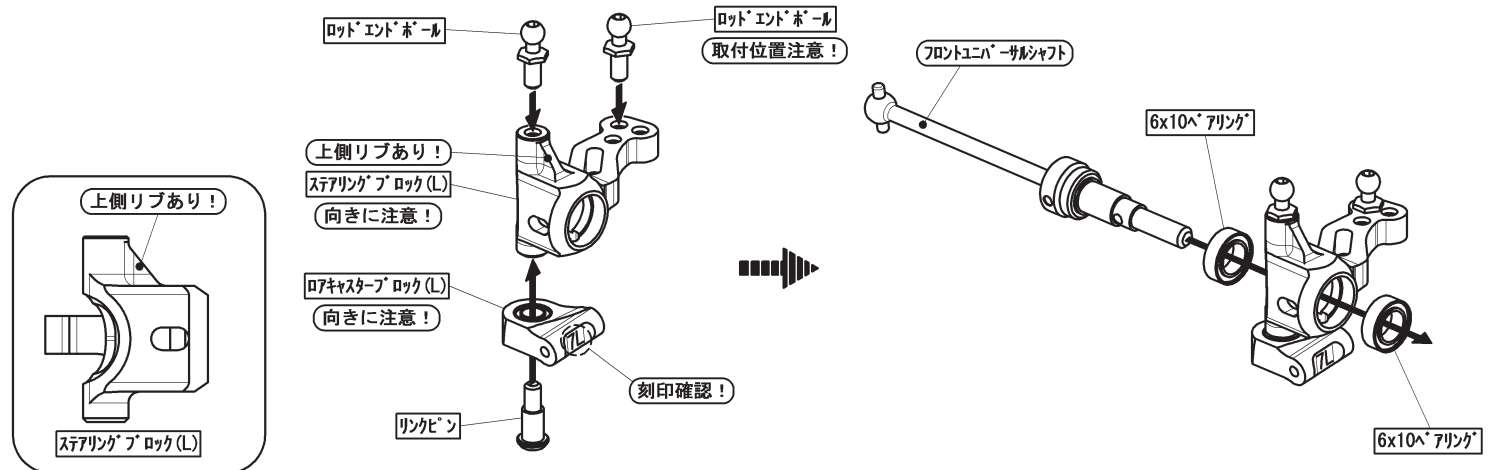
【袋⑩の内容】



フロントハブキャリアの組立て

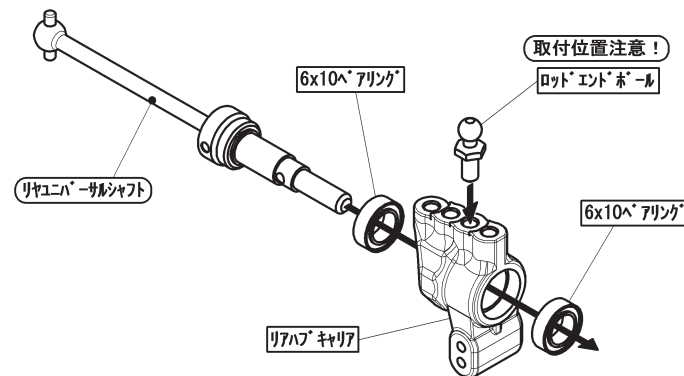
2セット作ります。(ステアリングブロック & ロアキャスターブロックには左右あり)

イラストは[L側(左側)]です。

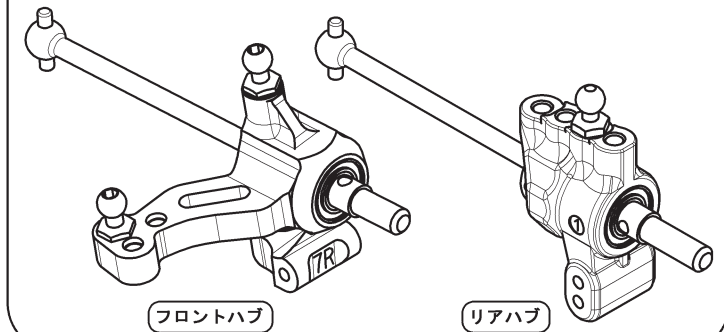


リヤハブキャリアの組立て

2セット作ります。

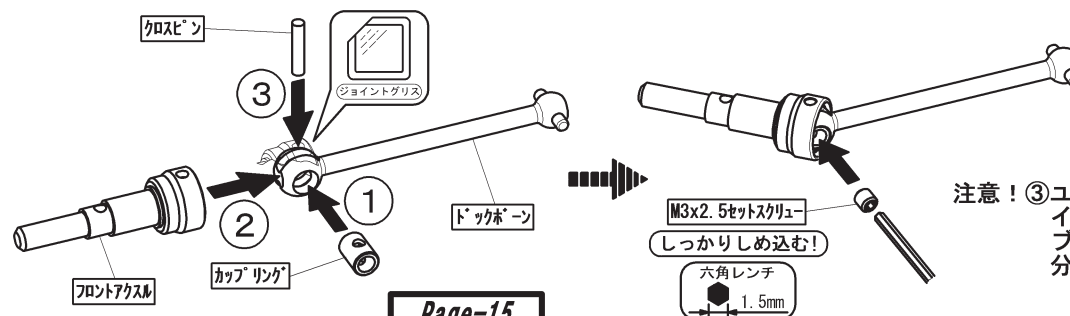


【反対側も対称に組立てます。】



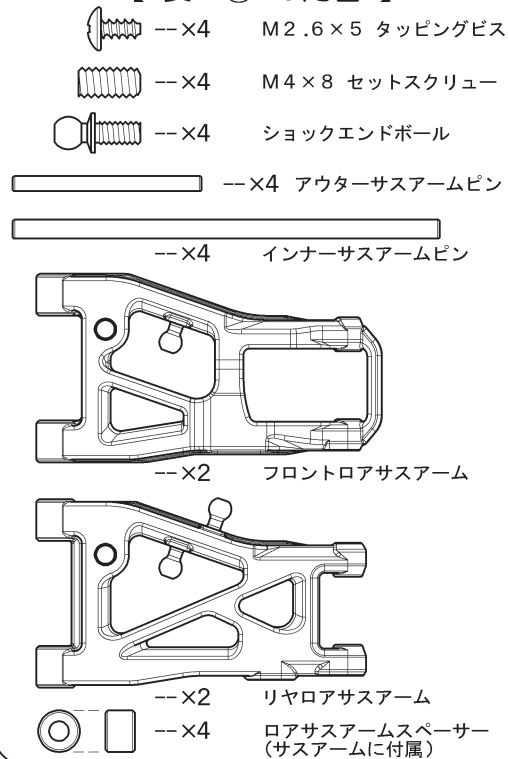
ユニバーサルシャフトの組立て方(分解)

メンテナンスが必要な時に行ってください。

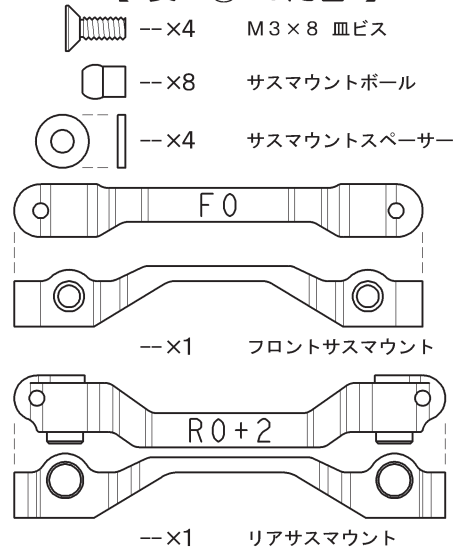


注意! ③ユニバーサルシャフトを組立てる場合は左イラストを参照して下さい。その際必ずブラックグリスを塗って下さい。分解する場合は逆の手順で行います。

【 袋-⑩ の内容 】

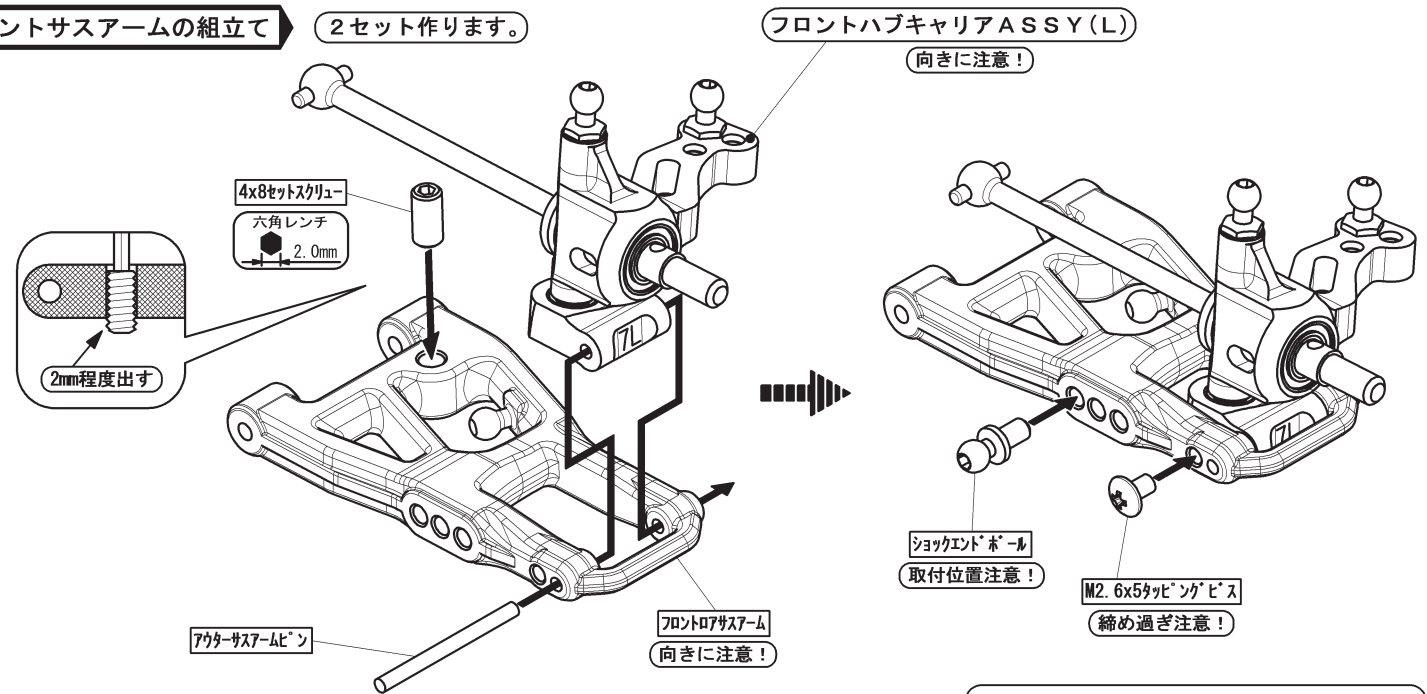


【 袋-⑪ の内容 】



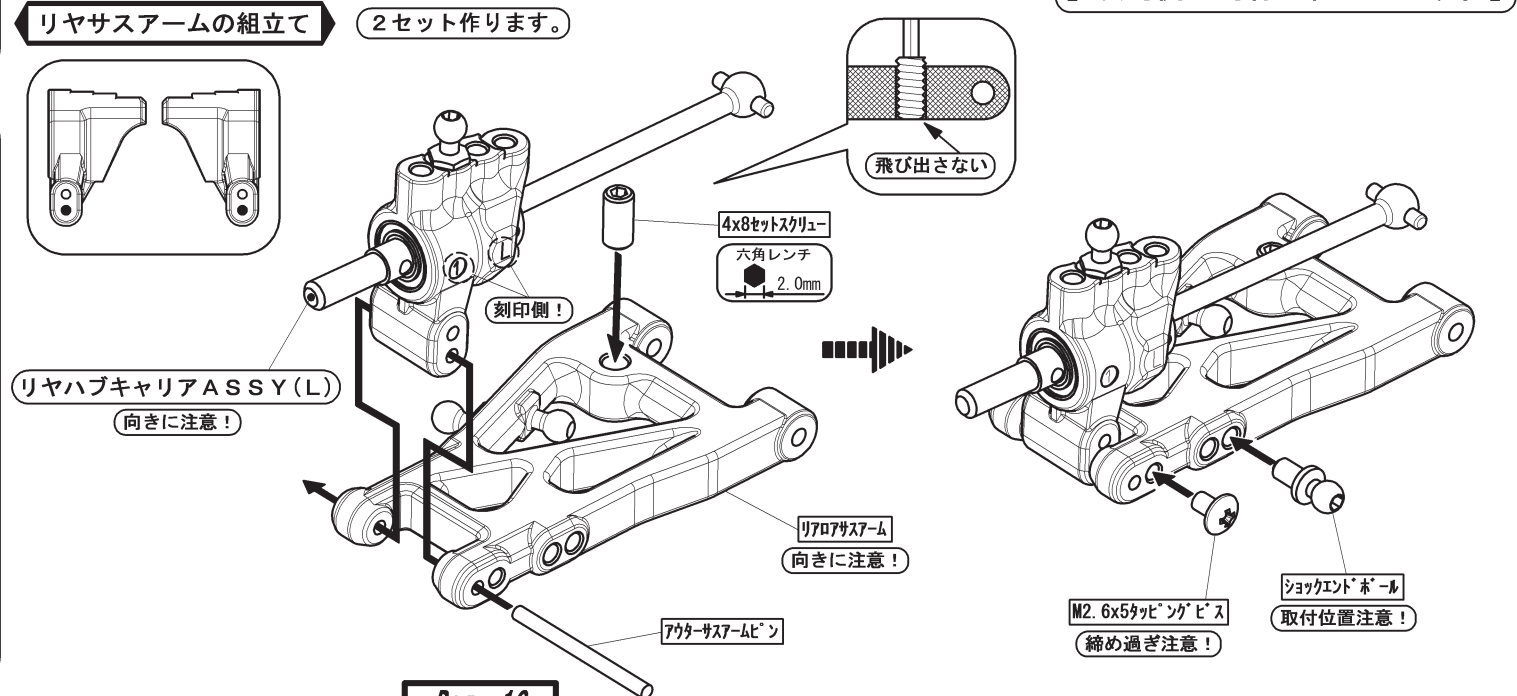
フロントサスアームの組立て

2セット作ります。



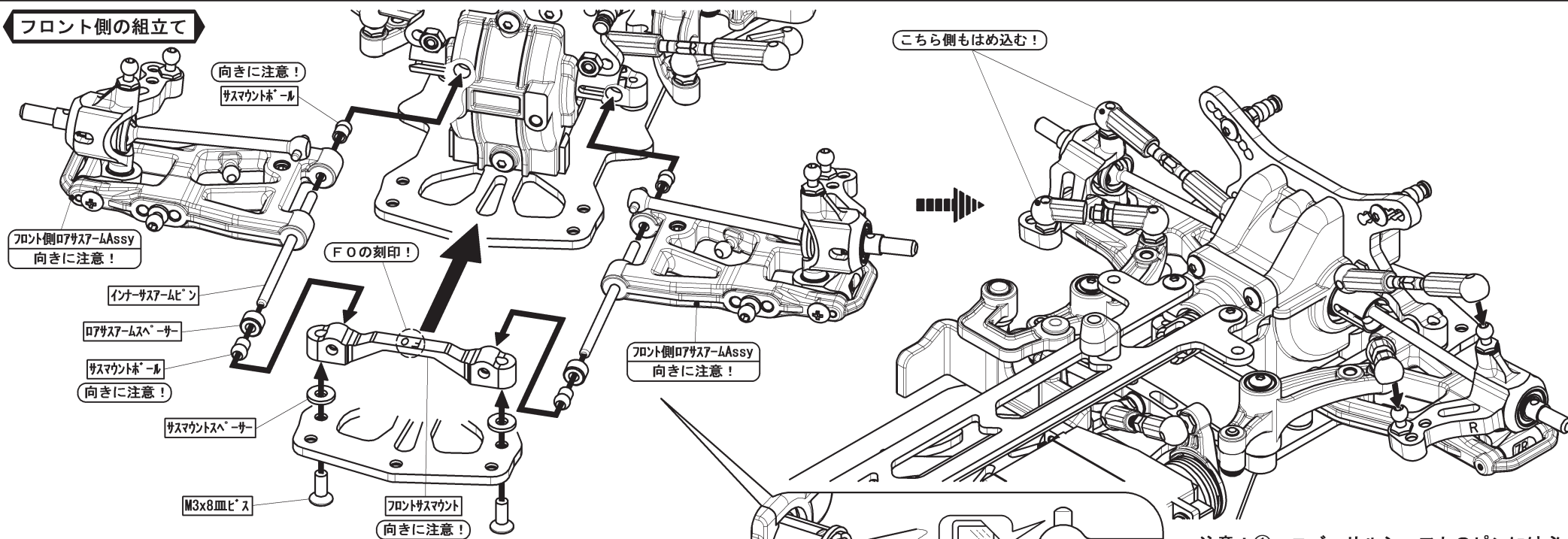
リヤサスアームの組立て

2セット作ります。

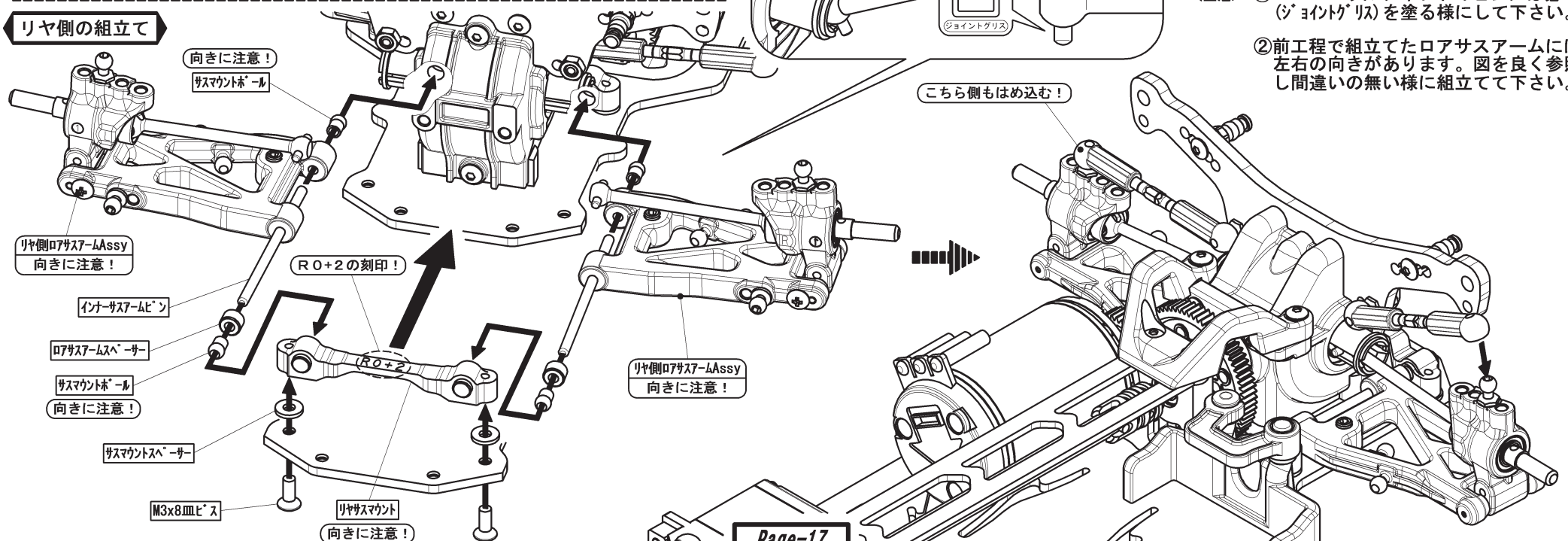


【 反対側も対称に組立てます。 】

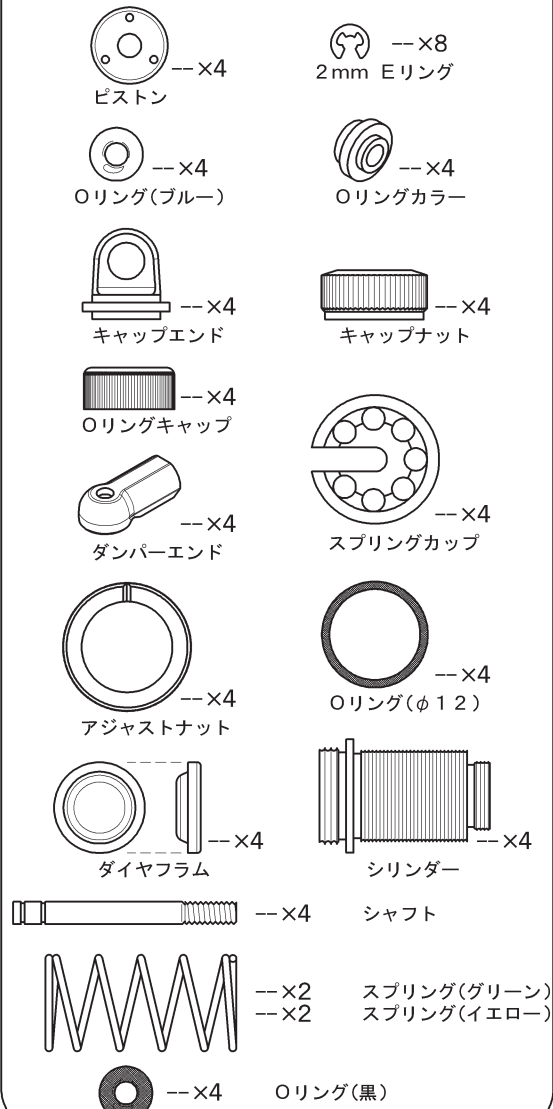
フロント側の組立て



リヤ側の組立て



【 袋-12 の内容 】



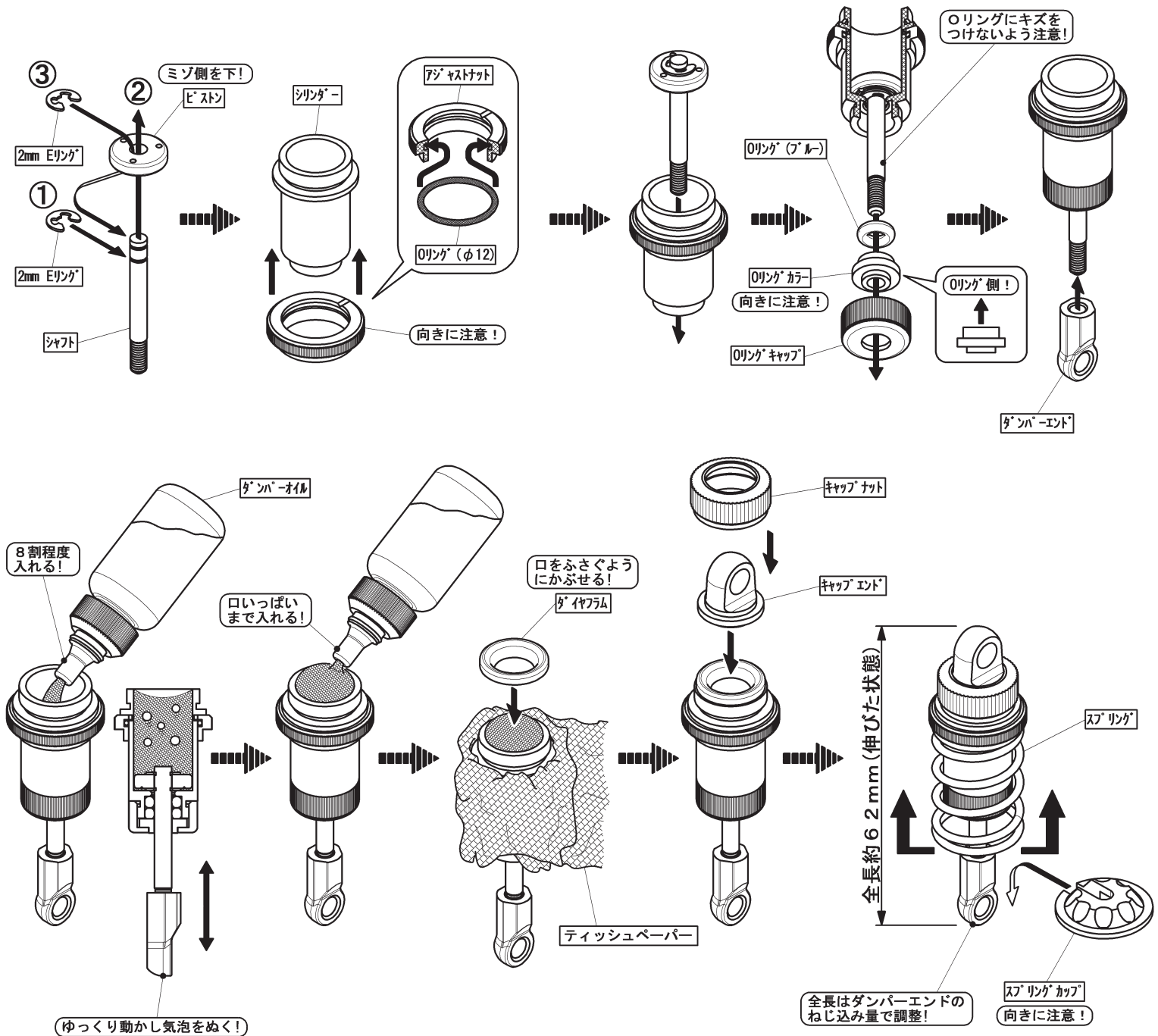
【 オイル袋 】

ダンパーオイル #400 --×1

注意！

ダンパー内で使用するOリングは必ず(ブルー)を使用して下さい。
(Oリング(黒))はダンパー内には使用できません。)

4セット作ります。



フロント側の取付(グリーン)

Oリング(黒)

Oリング(黒)

Oリング(黒)をはめる

ダンパーASSY(スプリング-グリーン)

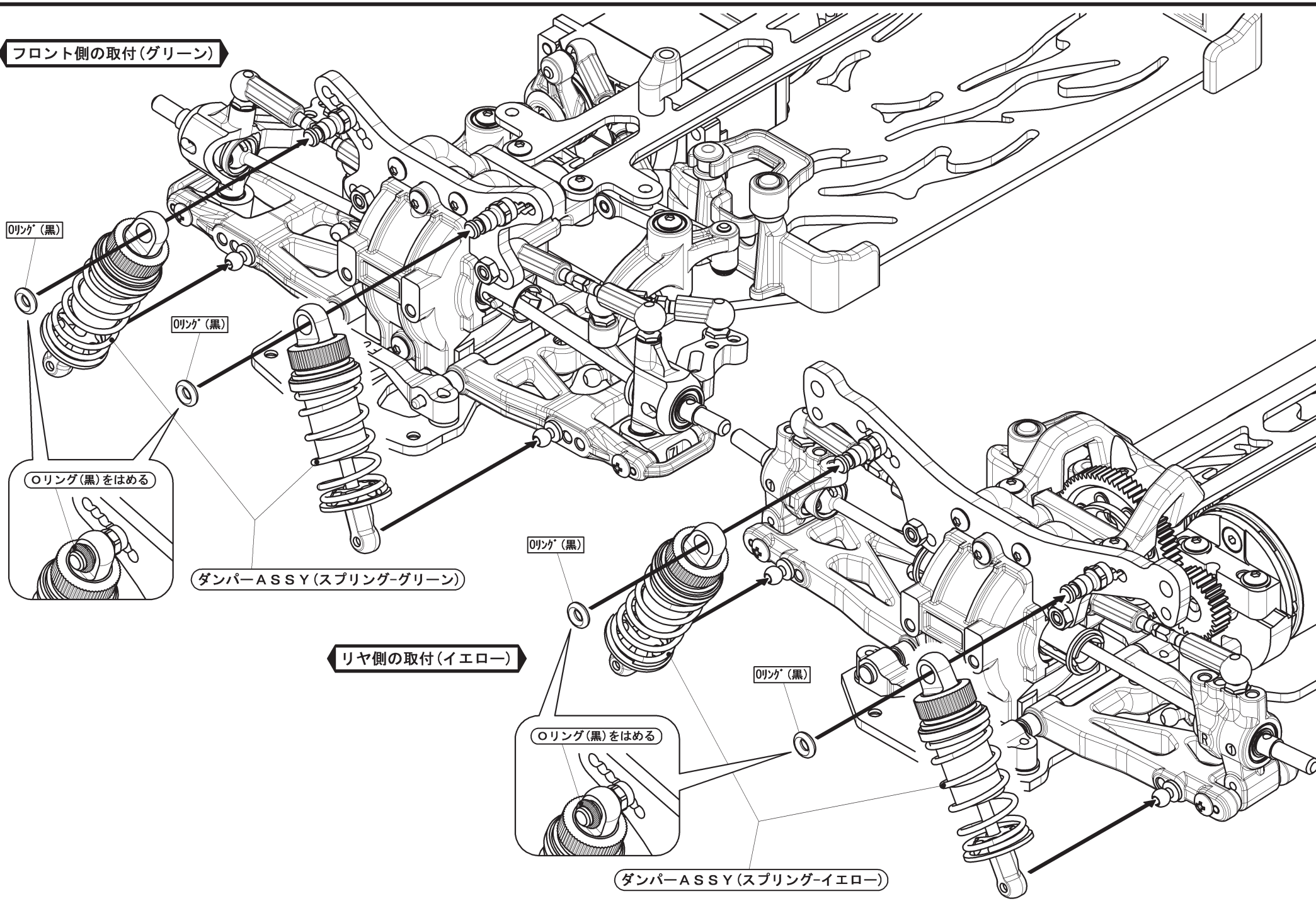
Oリング(黒)

Oリング(黒)

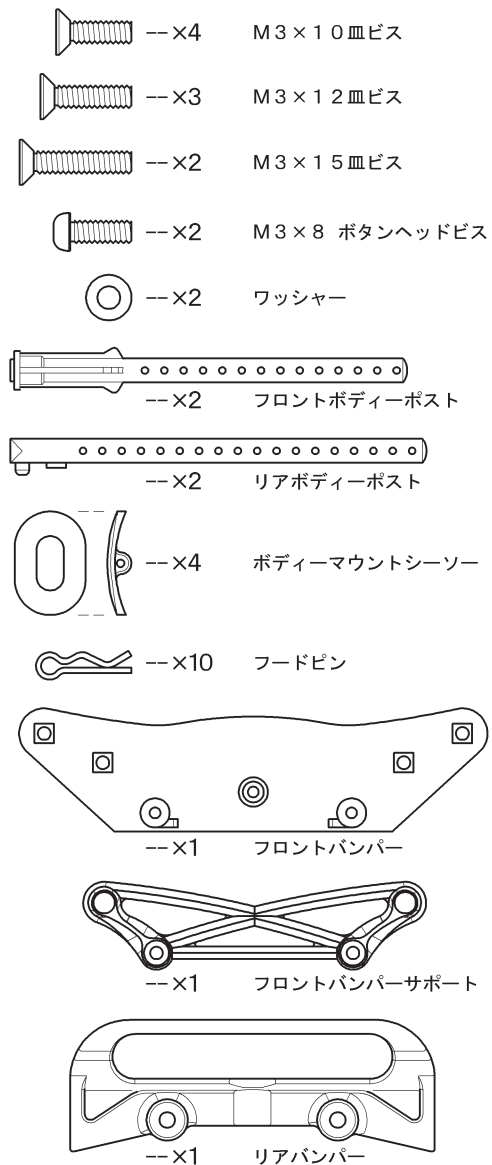
Oリング(黒)をはめる

ダンパーASSY(スプリング-イエロー)

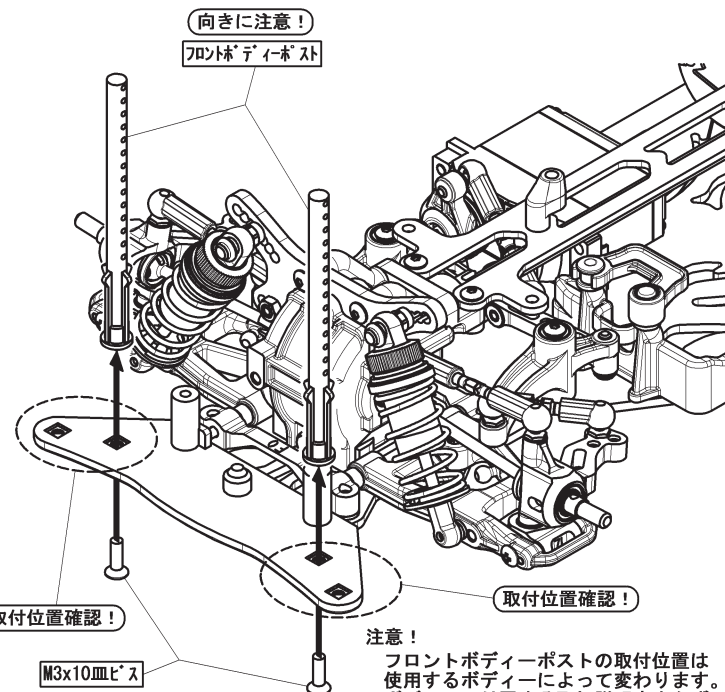
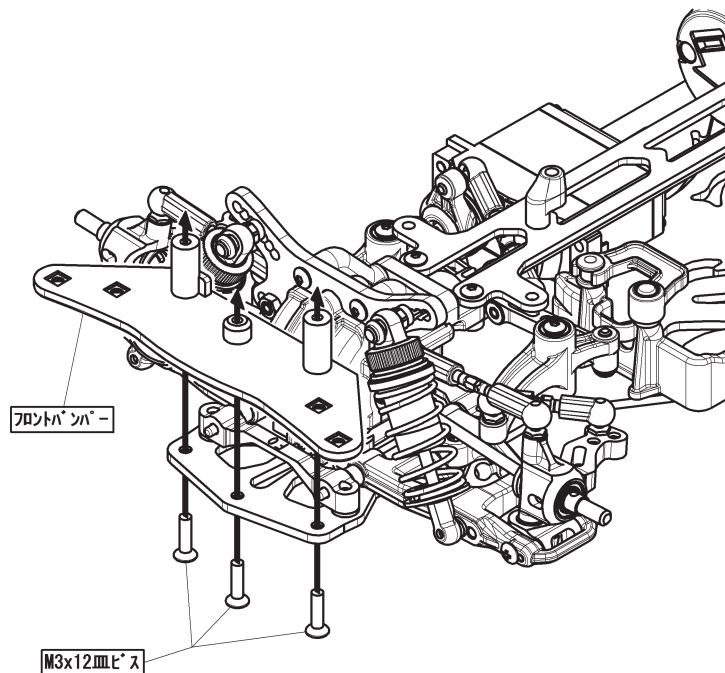
リヤ側の取付(イエロー)



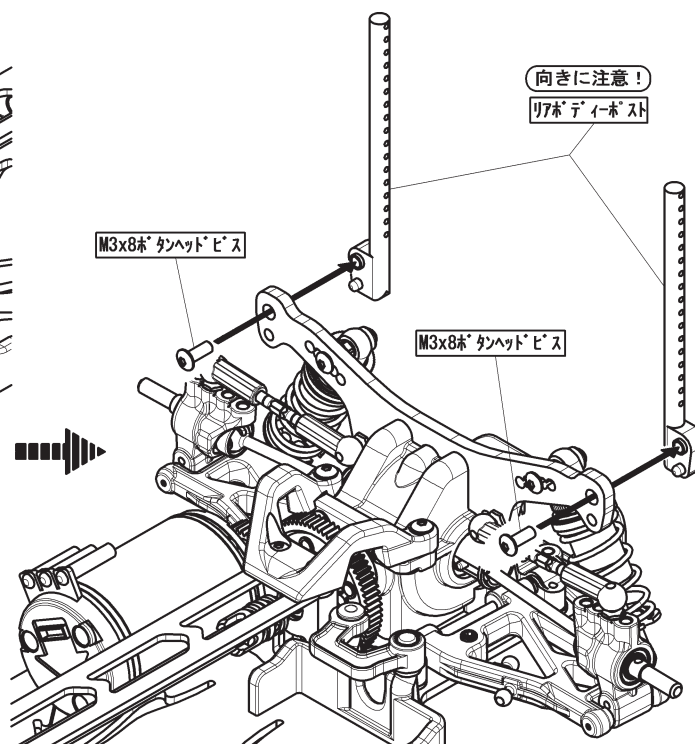
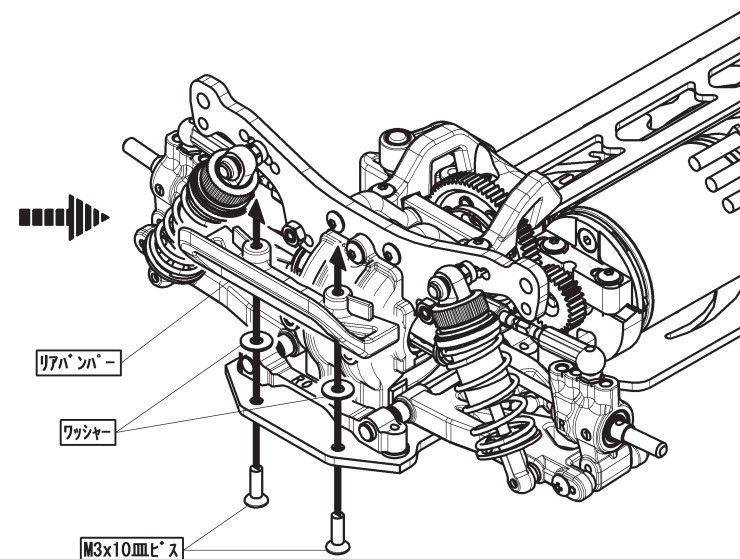
【 袋-13 の内容 】

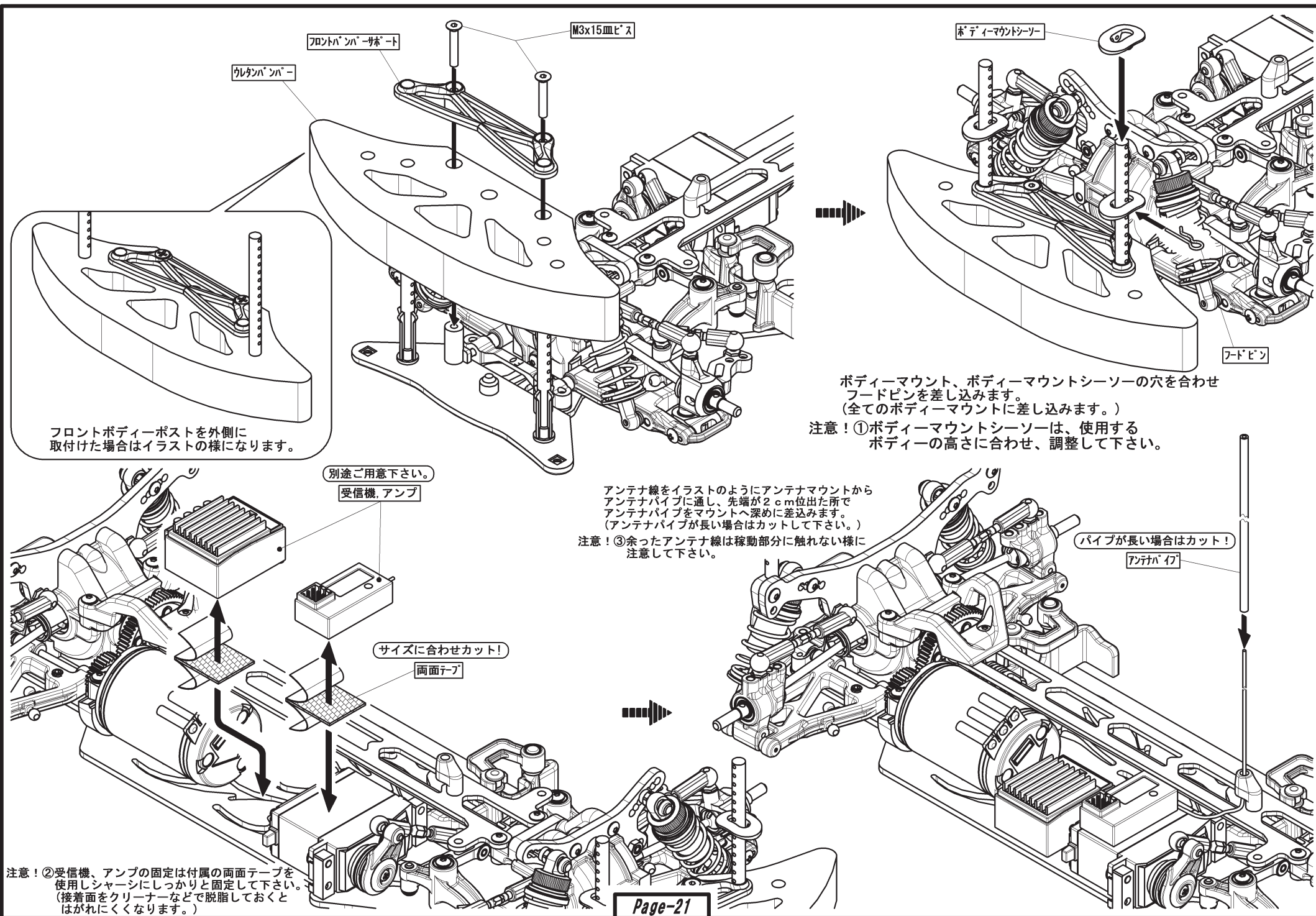


その他、両面テープ 1ヶ
 ナイロンストラップ 2ヶ



注意！
 フロントボディーポストの取付位置は
 使用するボディーによって変わります。
 ボディーに付属する取扱説明書を必ず
 お読み頂き取付位置を確認して下さい。

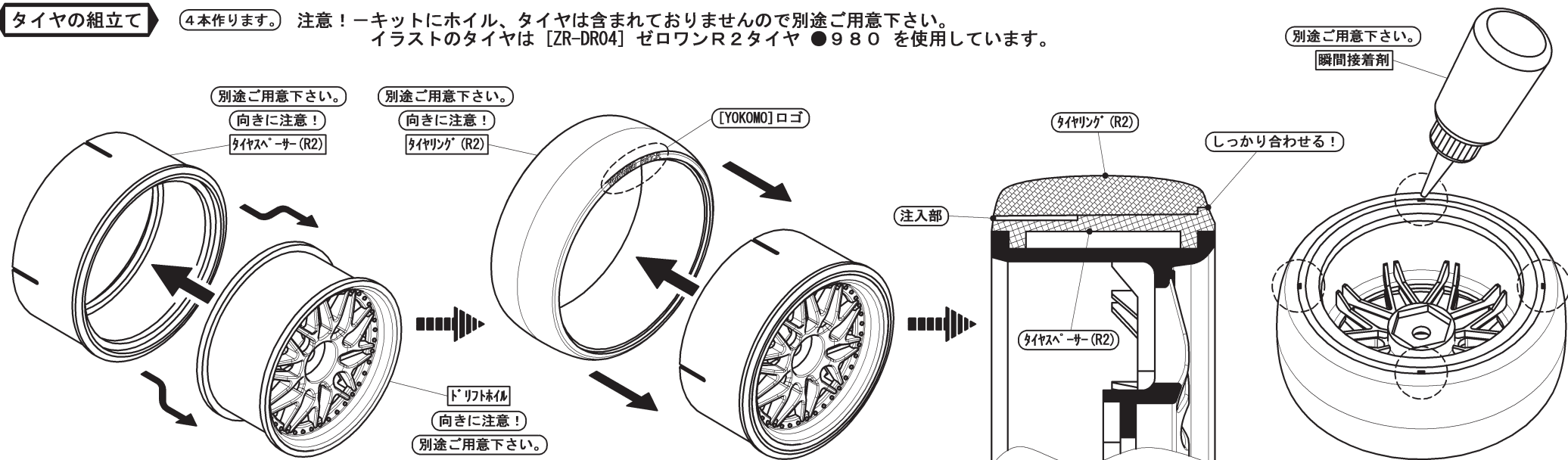




タイヤの組立て

4本作ります。

注意！一キットにホイール、タイヤは含まれておりませんので別途ご用意下さい。
イラストのタイヤは [ZR-DR04] ゼロワンR2タイヤ ●980 を使用しています。

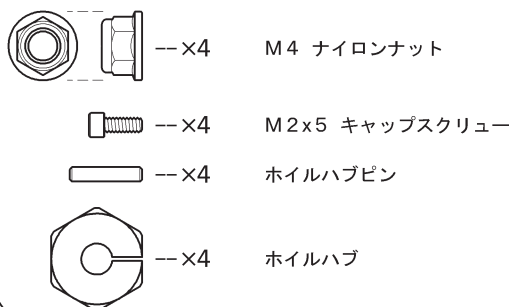


ホイールにタイヤスペーサーをしっかりとめ込みます。
(はめ込みが不十分だと次工程のタイヤリングをはめ込む作業がしづらくなります。)

タイヤリングを組み込む際にタイヤスペーサーにオイル等を
薄く塗ると簡単に作業することが出来ます。
(オイルの塗りすぎに注意して下さい。)

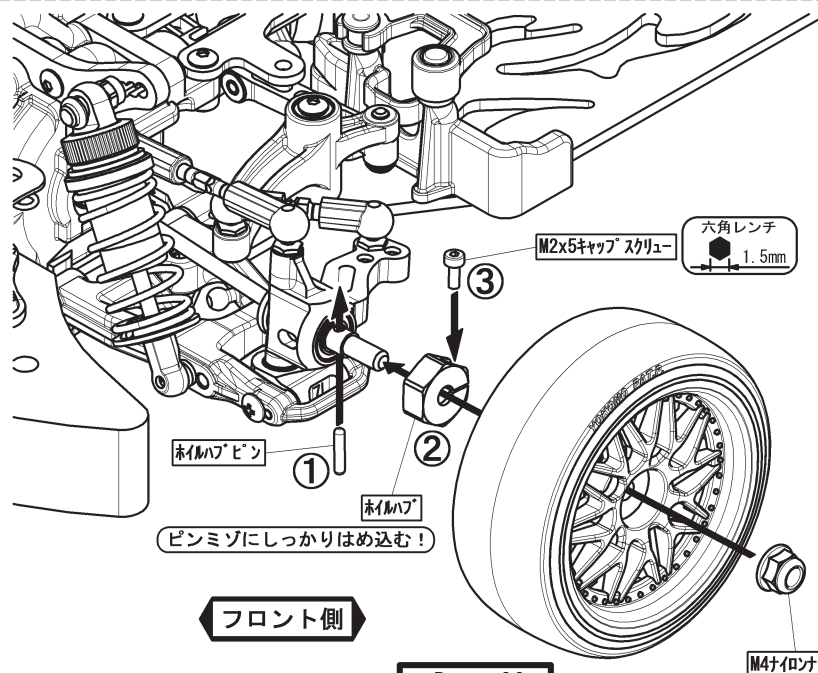
タイヤリングのサイドウォールにピッタリとあわせてから、反対側の
4ヶ所のミゾ部に瞬間接着剤を流し込んで固定します。
(タイヤリングを組み込む際にオイル等を使用した場合は30分以上
置いてから接着剤を使用して下さい。)

【袋⑭の内容】

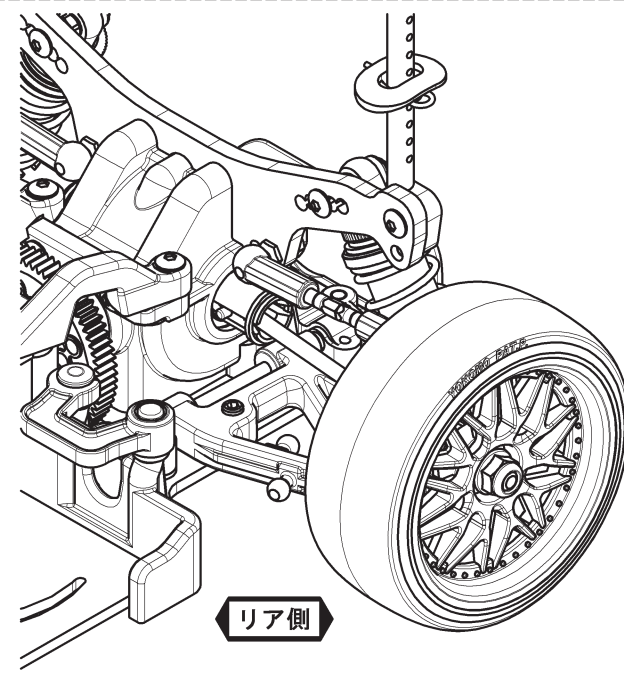


【反対側も同じ様に固定します。】

前後アクスルの穴にホイールハブピンを差込み
ホイールハブのミゾを合わせ、はめ込みます。
ホイールハブとホイールの6角をはめ合わせM4
ナイロンナットで固定します。



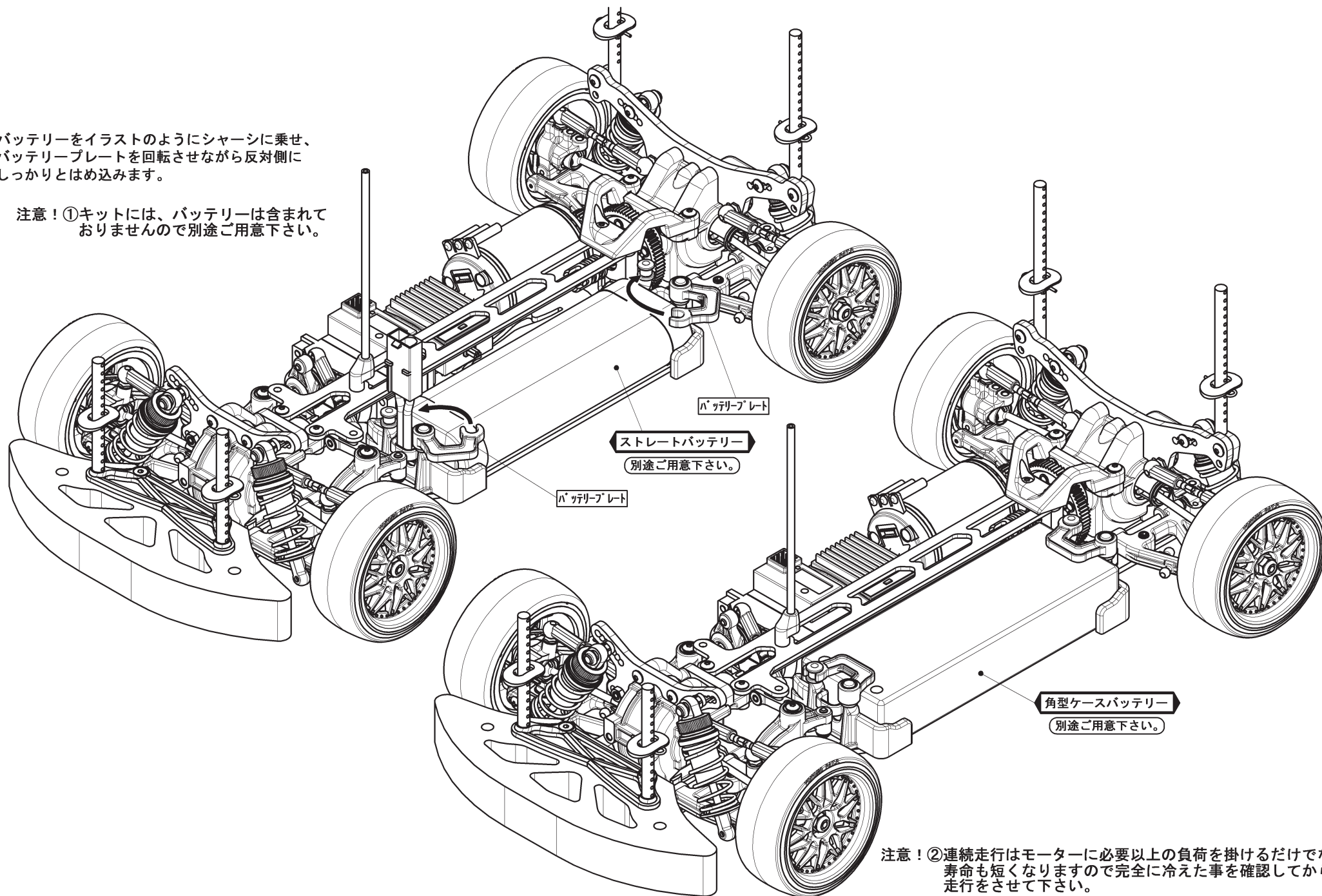
フロント側



リア側

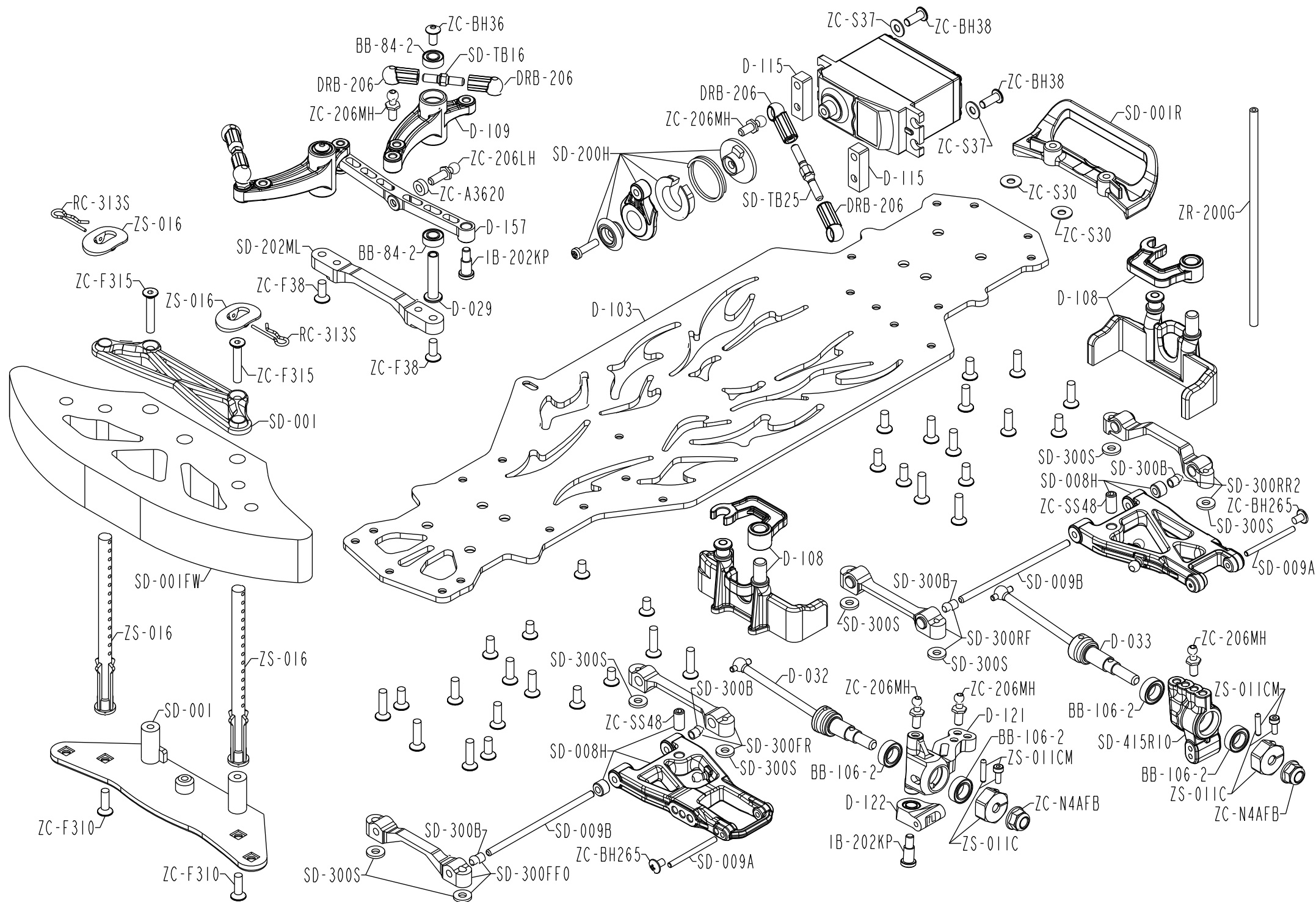
バッテリーをイラストのようにシャーシに乗せ、
バッテリープレートを回転させながら反対側に
しっかりとめ込みます。

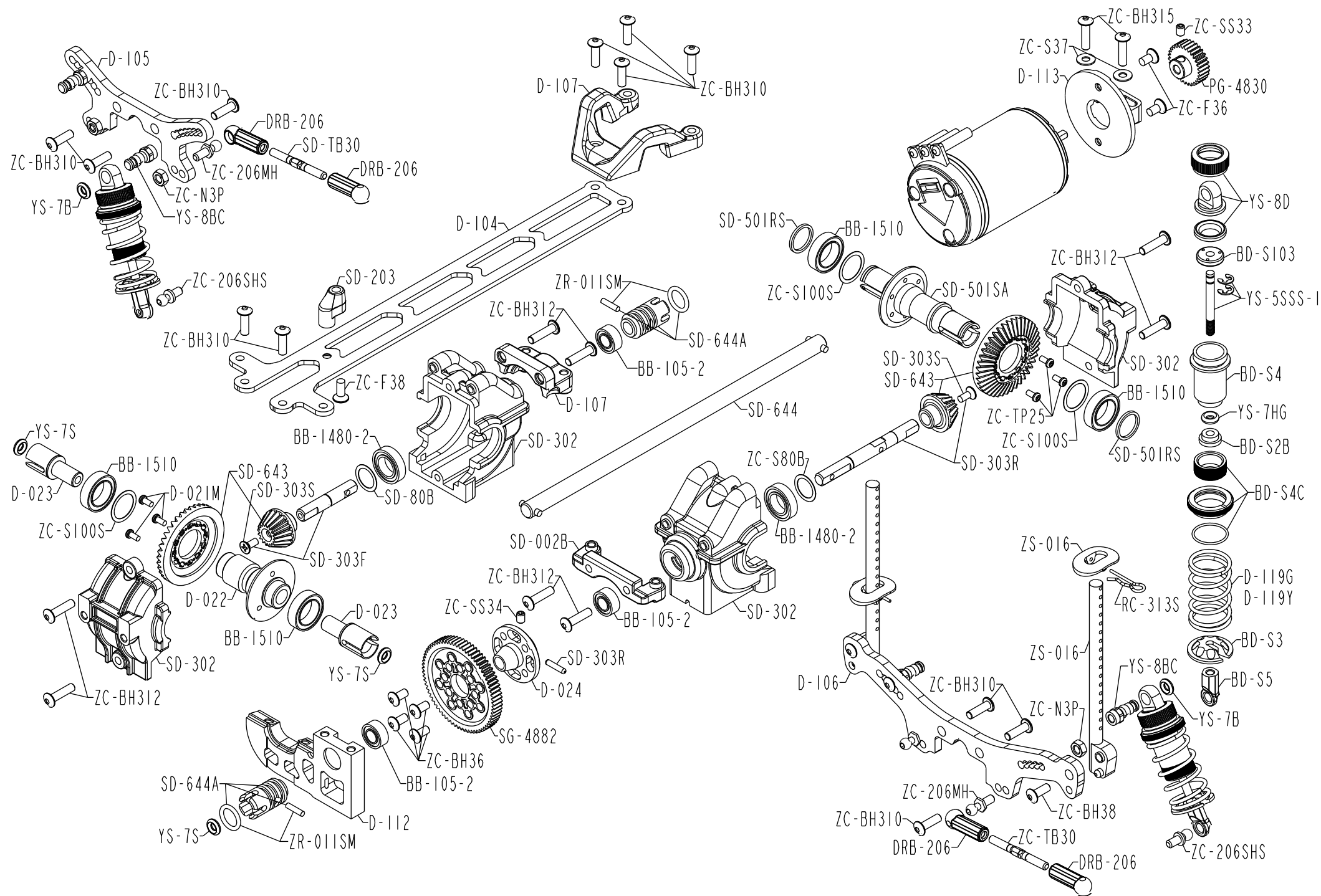
注意！①キットには、バッテリーは含まれて
おりませんので別途ご用意下さい。



注意！②連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく
寿命も短くなりますので完全に冷えた事を確認してから
走行をさせて下さい。

③マシンは予想以上のスピードが出ます。必ず広い安全な
場所を見つけてから走行をお楽しみ下さい！





DRIFT PACKAGE

イェルオオQ

フルフラ

SETTING SHEET

DATE	/ /	
サーキット		
環境	☐ インドア	☐ アウトドア
路面	☐ アスファルト	☐ コンクリート
路面状況	☐ フラット	☐ バンピー
グリップ	☐ 高い	☐ 普通
	☐ 低い	☐ 低い

■フロント駆動

☐ フンウェイ (D-021) ☐ ギヤデフ (D-150S) オイル# ☐

ボールデフ FCD

☐ 樹脂製 (SD-501DS) ☐ ボールデフ 0.76倍(D-143)

☐ アルミ製 (SD-501DA) ☐ フンウェイ・ソリッド 0.76倍(D-144)

ソリッドデフ ☐ ボールデフ 0.88倍(D-145)

☐ 樹脂製 (SD-501SAS) ☐ フンウェイ・ソリッド 0.88倍(D-146)

☐ アルミ製 (SD-501SAA)

■ステアリングロック

☐ トレーロ (SD-415S)

☐ D-MAX用 (SD-415DS)

☐ ロアキャスターロック用 (D-121)

☐ キングピンアングル 10度 (SD-415S10)

☐ キングピンアングル 12度 (SD-415S12)

☐ アルミAアーム専用ナロー0度 (D-152-0)

☐ アルミAアーム専用ナロー7度 (D-152-7)

■フロントビル・ライイト

車高 mm

mm

ダウンストッパ用セットピスで調整

■フロントダンパー

☐ スポンジ ☐ 有 ☐ 無

☐ ダイナマラム

☐ シリコン (YS-8DMH)

☐ フッ素ゴム (YS-8HD)

☐ ピストン

☐ 1穴 ☐ 2穴 ☐ 3穴

☐ ショックシヤフト

☐ ノーナル

☐ チタンコート

☐ [Oリング・カラー]

タイフ

☐ ガル (YS-7HG)

☐ クリアー (YS-7S)

数

☐ 1ヶ (BD-S2B使用)

☐ 2ヶ (BD-S2W使用)

☐ スプリング

()

ダンパー全長 mm

ダンパーオイル

■フロントサスアーム位置

mm X 枚

■サスアーム種類

☐ ノーナル (SD-008H)

☐ クラフファイト (SD-008HG)

☐ Aアームアルミ (D-137)

■ギヤ比

スパー () ピッチ () 枚

ピニオン () ピッチ () 枚

FRONT

■アイアーム、ショック位置

■ロアキャスターロック

☐ 7°(D-122)

☐ 10°(D-123)

☐ 12°(D-124)

■フロントトー角

°

■フロントキャンバー角

°

■フロントキャスター角

°

■フロントサスマウント

()

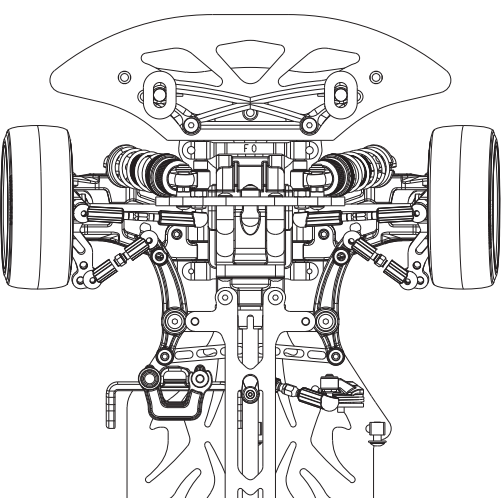
()

()

()

X 枚 X 枚

() ()



■ホイール

■インング

■バッテリー

■フロントタイヤ、リング、ホイール

■フロントスタビライザー

☐ 有 () ☐ 無

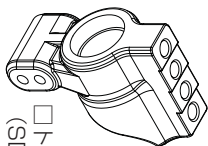
■ウエイト (フロント側)

g (場所:)

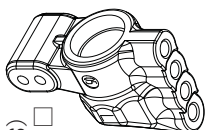
ドライバー

コメント

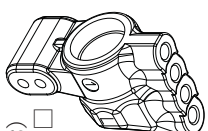
■リアハブキャリア



☐ トーイン0°
(SD-415R00)



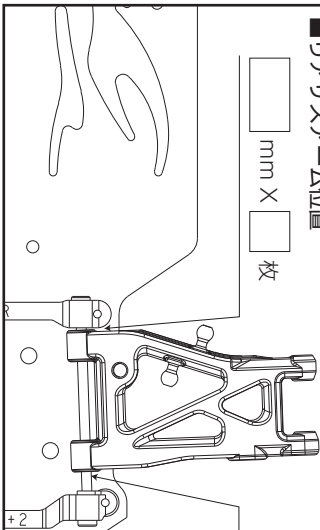
☐ トーイン0.5°
(SD-415R05)



☐ トーイン1°
(SD-415R10)

■リアサスアーム位置

mm X 枚



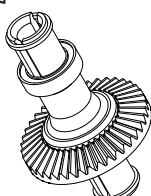
mm X 枚

■サスアーム種類

- ☐ ノーサル
(SD-008H)
☐ グラフファイト
(SD-008HG)

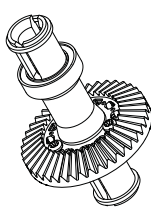
■リア駆動

☐ ギヤデブ (D-150S) オイル#



ボールデブ

- ☐ 樹脂製 (SD-501DS)
☐ アルミ製 (SD-501DA)

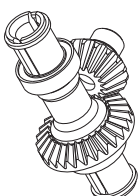


ソリッドアスル

- ☐ 樹脂製 (SD-501SAS)
☐ アルミ製 (SD-501SAA)

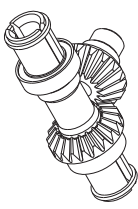
FCD

- ☐ 1.3倍 (D-087)
☐ 1.5倍 (D-048)



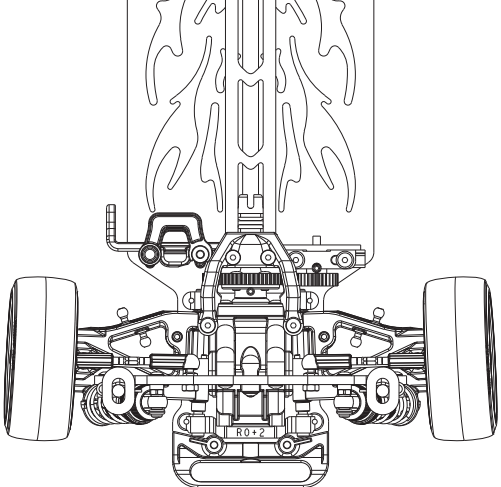
FCD

- ☐ 1.8倍 (D-089)
☐ 2倍 (D-051)

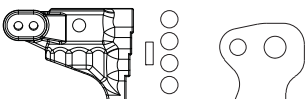


× 2.35 = ギヤ比 (: 1)

REAR ▶



■アイアーム、シヨック位置



■リアトー角

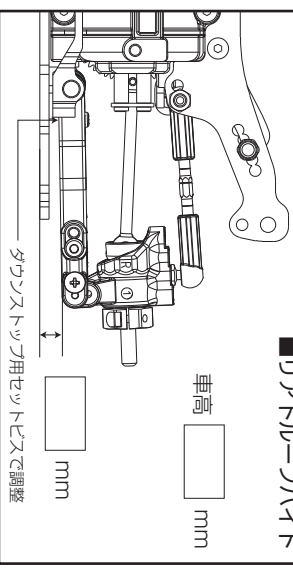
°

■リアキャンバー角

°

■リアドローグハイト

車高 mm



↓
ダウンストッパ用セットピスで調整

■リアダンパー

☐ スポンジ
☐ 有 ☐ 無

- 【ダイヤララム】
☐ シリコン (YS-8DMH)
☐ フッ素ゴム (YS-8HD)

- 【ピストン】
☐ 1穴 ☐ 2穴 ☐ 3穴
【シヨックシヤフト】
☐ ノーサル
☐ チタンコート

- 【オイル・カラー】
タイヤ
☐ カラー (YS-7HG)
☐ クリアー (YS-7S)

- 数
☐ 1ヶ (BD-S2B使用)
☐ 2ヶ (BD-S2W使用)
【スリリング】
()

■ウェイト (リア側)

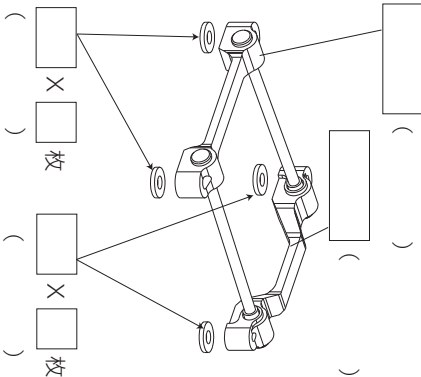
g (場所:)

■リアタイヤ、リソダ、ホイル

■リアスタビライザー

☐ 有 () ☐ 無

■リアサスマウント



MEMO

[illegible]

AS A MANUFACTURER OF WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CARS,
YOKOMO WILL CONTINUE TO PROVIDE THE BEST AVAILABLE TECHNOLOGY TO R/C ENTHUSIASTS ALL OVER THE WORLD.
ENJOY THIS PRODUCT KNOWING THAT YOU ARE DRIVING ONE OF THE BEST HANDLING R/C CARS EVER DESIGNED.



世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界の R/C カーマニアに愛用されています。